

川西町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための

## アンケート調査結果報告書

〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〕

平成 29 年 3 月

川 西 町

# 目 次

## I 調査の概要及び回答者の属性

1	調査の概要	3
(1)	調査目的	3
(2)	調査対象及び調査方法	3
(3)	配布数及び回収結果	3
(4)	調査の項目	3
2	本調査報告書の基本的な事項	4
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	4
3	回答者について	4
(1)	性別	4
(2)	年齢	4
(3)	居住地	5
①	居住自治会	5
②	居住地（統合）	5

## II 調査結果

1	あなたのご家族や生活状況について	9
(1)	家族構成	9
(2)	日常生活での介護・介助の必要性	10
(3)	主な介護者・介助者と本人との関係	11
(4)	経済的にみた現在の暮らしの状況	12
2	からだを動かすことについて	13
(1)	階段を手すりや壁を伝わらずに昇る	13
(2)	椅子から何もつかまらずに立ち上がる	14
(3)	15分位続けて歩く	14
(4)	過去1年間の転倒経験	15
(5)	転倒に対する不安	15
(6)	週に1回以上の外出	16
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っている	16
(8)	外出する際の移動手段	17
3	食べることについて	18
(1)	身長・体重	18
①	身長	18
②	体重	18
③	BMI	19
(2)	半年前と比べて固いものが食べにくくなった	19

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況.....	20
(4) 誰かと食事をとにもする機会.....	20
4 毎日の生活について.....	21
(1) 物忘れが多いと感じる.....	21
(2) バスや電車を使って1人で外出している.....	22
(3) 自分で食品・日用品の買物をしている.....	22
(4) 自分で食事の用意をしている.....	23
(5) 自分で請求書の支払いをしている.....	23
(6) 自分で預貯金の出し入れをしている.....	24
5 地域での活動について.....	25
(1) 会・グループ等への参加状況.....	25
(2) 地域活動に参加者として参加したいか.....	26
(3) 地域活動に企画・運営として参加したいか.....	27
6 たすけあいについて.....	28
(1) たすけあいについて.....	28
① 心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人.....	28
② 看病や世話をしてくれる人・してあげる人.....	30
7 健康について.....	31
(1) 現在の健康状態.....	31
(2) 現在の幸せの程度.....	31
(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる.....	32
(4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない.....	32
(5) タバコを吸っているか.....	33
(6) 現在治療中または後遺症のある病気.....	34
8 健康づくり・介護予防・認知症施策について.....	35
(1) 健康維持のために心がけていること.....	35
(2) 週1回以上の運動.....	36
(3) 運動の実践状況.....	36
A 1週間の運動回数.....	36
B 1回の運動時間.....	37
C 継続期間.....	37
(4) 町の介護予防教室や講座への参加経験.....	37
(5) 参加してこなかった理由.....	38
(6) 今後重点を置くべき認知症対策.....	39
9 日常生活について.....	40
(1) 自身が要介護となったとき日常的に受けたい支援.....	40
(2) 利用経験のある買物サービスなど.....	41
10 町の施策や介護保険制度について.....	42
(1) 介護保険制度のサービスなどの範囲について.....	42
(2) 困ったこと、わからないことの相談先.....	43

(3) どこで人生の最期を迎えたいか.....	44
(4) 自宅でターミナル期を迎えるために必要な支援.....	44
(5) 町が重点的に進めるべき高齢者のためのまちづくり.....	45

## 資 料

自由意見.....	49
集計表.....	62
調査票.....	80

# I 調査の概要及び回答者の属性



## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、法律で3年ごとに見直しが定められている「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、町内の在宅の高齢者の状況を把握することを目的に実施した。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	町内にお住まいの65歳以上の方 (要支援・要介護認定者除く)
配布数	2,389票
調査方法	郵送法
調査時期	平成29年2月
調査地域	川西町全域

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	2,389票
有効回収数	1,643票
有効回収率	68.8%

### (4) 調査の項目

1	あなたのご家族や生活状況について
2	からだを動かすことについて
3	食えることについて
4	毎日の生活について
5	地域での活動について
6	たすけあいについて
7	健康について
8	健康づくり・介護予防・認知症施策について
9	日常生活について
10	町の施策や介護保険制度について

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。  
従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

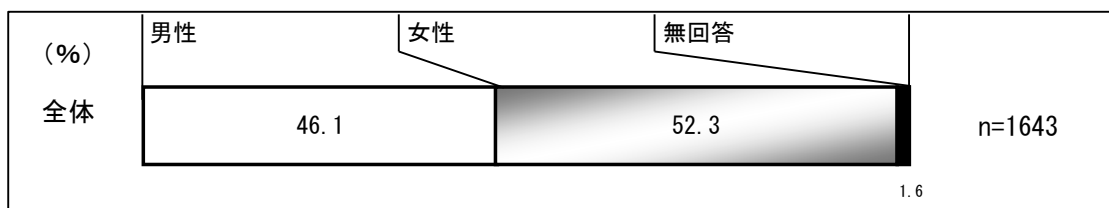
## 3 回答者について

### (1) 性別

あなたの性別はどちらですか。

- 「女性」が5割強、一方、「男性」が5割弱。

性別構成は、「女性」が52.3%、「男性」が46.1%となっている。

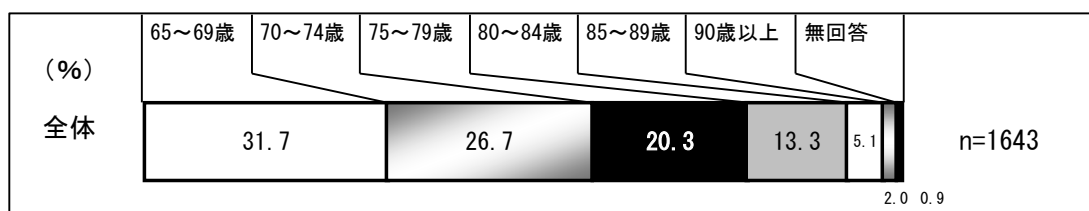


### (2) 年齢

あなたの年齢はいくつですか。(平成29年2月1日現在)

- 「65~69歳」が最も多く、3割強を占める。

年齢構成は、「65~69歳」(31.7%)が最も多く、次いで「70~74歳」(26.7%)が続き、以下、「75~79歳」(20.3%)、「80~84歳」(13.3%)、「85~89歳」(5.1%)、「90歳以上」(2.0%)となっている。





### (3) 居住地

あなたがお住まいの自治会はどこですか。



- “結崎C” が最も多く、3割強を占める。

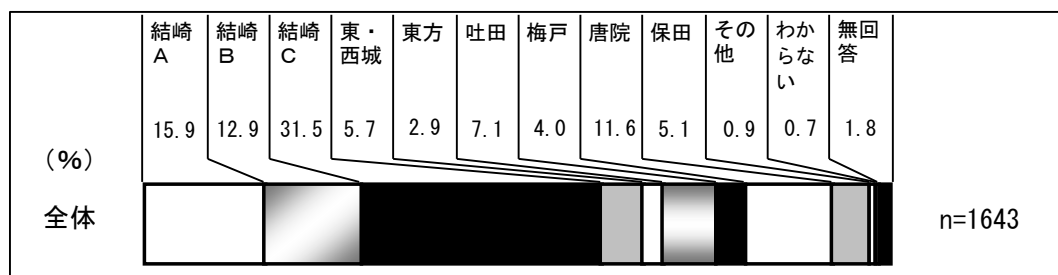
#### ① 居住自治会

回答者の居住自治会は、下表のとおりとなっている。

居住自治会名	n	%	回答人数	%	統合後の居住地名
中村	83	5.1	261	15.9	結崎 A
市場	42	2.6			
辻	66	4.0			
井戸	70	4.3			
出屋敷	138	8.4	212	12.9	結崎 B
美ノ城	30	1.8			
ハッピータウン	12	0.7			
美幸	28	1.7			
スカイタウン	4	0.2	518	31.5	結崎 C
結崎団地	441	26.8			
結崎南団地	77	4.7	94	5.7	東・西城
東城	66	4.0			
西城	28	1.7			
東方	47	2.9	47	2.9	東方
上吐田	31	1.9	116	7.1	吐田
北吐田	31	1.9			
南吐田	54	3.3			
梅戸	65	4.0	65	4.0	梅戸
唐院	191	11.6	191	11.6	唐院
保田	84	5.1	84	5.1	保田
その他	14	0.9	14	0.9	その他
わからない	11	0.7	11	0.7	わからない
無回答	30	1.8	30	1.8	無回答
合計	1643	100.0	1643	100.0	

#### ② 居住地（統合）

居住自治会を統合した後の居住地は、「結崎C」(31.5%) が最も多く、次いで「結崎A」(15.9%) が続き、以下、「結崎B」(12.9%)、「唐院」(11.6%)、「吐田」(7.1%)、「東・西城」(5.7%)、「保田」(5.1%)、「梅戸」(4.0%)、「東方」(2.9%) となっている。





## II 調査結果



# 1 あなたのご家族や生活状況について

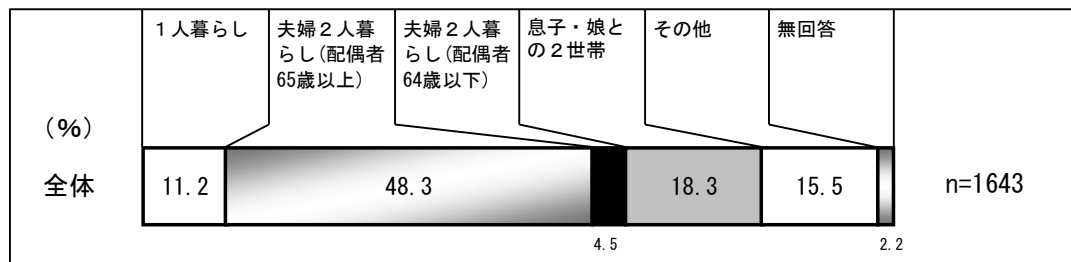
## (1) 家族構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください。

- 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)が最も多く、5割弱を占める。

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(48.3%)、「息子・娘との2世帯」(18.3%)、「その他」(15.5%)、「1人暮らし」(11.2%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.5%)となっている。年齢別にみると、後期高齢者(75歳以上)では「1人暮らし」の割合が1割を超える。[図表1・2参照]

図表1 家族構成(全体)



図表2 家族構成(全体・年齢)

(単位: 上段 人、下段 %)

	合計	問1(1) 家族構成						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体	1643	184	794	74	301	254	36	
	100.0	11.2	48.3	4.5	18.3	15.5	2.2	
年齢	65~69歳	521	244	54	75	99	7	
		100.0	8.1	46.8	10.4	14.4	19.0	1.3
	70~74歳	438	237	8	76	71	9	
		100.0	8.4	54.1	1.8	17.4	16.2	2.1
	75~79歳	334	183	5	57	45	4	
		100.0	12.0	54.8	1.5	17.1	13.5	1.2
	80~84歳	219	102	5	44	22	3	
	100.0	19.6	46.6	2.3	20.1	10.0	1.4	
85~89歳	84	23	1	35	9	1		
	100.0	17.9	27.4	1.2	41.7	10.7	1.2	
90歳以上	33	3	0	14	6	4		
	100.0	18.2	9.1	0.0	42.4	18.2	12.1	

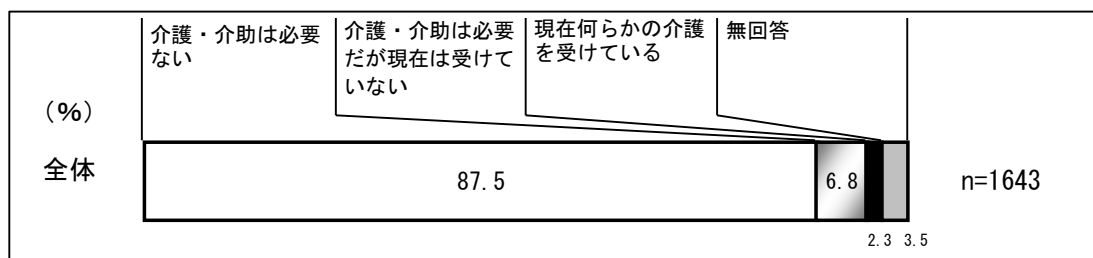
## (2) 日常生活での介護・介助の必要性

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- 「介護・介助は必要ない」が9割弱を占める。

日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」(87.5%)が最も多く、以下、「介護・介助は必要だが現在は受けていない」(6.8%)、「現在何らかの介護を受けている」(2.3%)となっている。年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれて介護・介助の必要性は上昇する傾向があり、実際に介護を受けている人の割合も上昇する傾向にある。[図表3・4参照]

図表3 日常生活での介護・介助の必要性 (全体)



図表4 日常生活での介護・介助の必要性 (全体・年齢)

(単位：上段 人、下段 %)

	合計	問1 (2) 日常生活での介護・介助の必要性				
		介護・介助は必要ない	介護・介助は必要だが現在は受けていない	現在何らかの介護を受けている	無回答	
全体	1643 100.0	1437 87.5	112 6.8	37 2.3	57 3.5	
年齢	65～69 歳	521 100.0	493 94.6	13 2.5	5 1.0	10 1.9
	70～74 歳	438 100.0	412 94.1	11 2.5	4 0.9	11 2.5
	75～79 歳	334 100.0	295 88.3	24 7.2	7 2.1	8 2.4
	80～84 歳	219 100.0	163 74.4	38 17.4	8 3.7	10 4.6
	85～89 歳	84 100.0	53 63.1	17 20.2	8 9.5	6 7.1
	90 歳以上	33 100.0	18 54.5	7 21.2	5 15.2	3 9.1

### (3) 主な介護者・介助者と本人との関係

※(2)で「2.」または「3.」と回答した方にお伺いします。

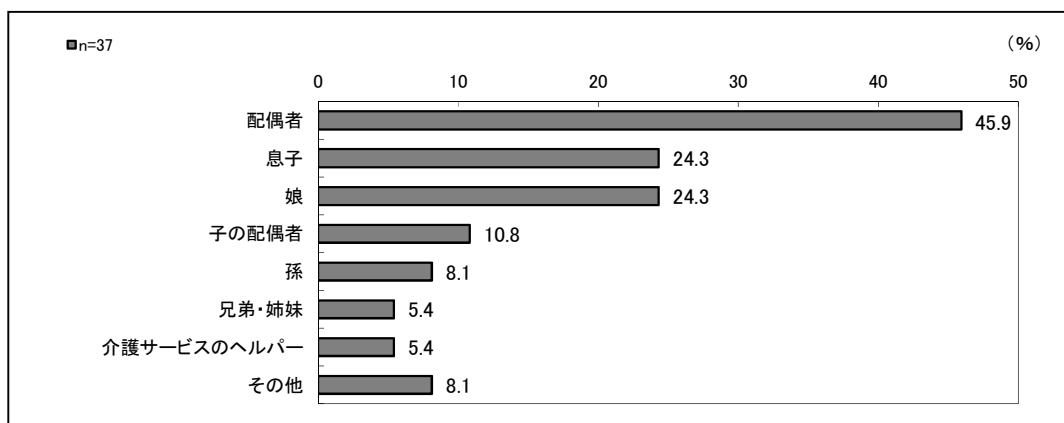
問1(3) 主にどなたの介護、介助を受けていますか。【複数回答】

※アンケート調査票では、『「2.」または「3.」と回答した方』となっていたが、国が訂正したため、集計上は「3.」と回答した方だけに修正している。

- 「配偶者」が第1位。

(2)で「3. 現在何らかの介護を受けている」と回答した方に、主に誰の介護、介助を受けているかについてたずねたところ、「配偶者」(45.9%)、「息子」・「娘」(同率24.3%)、「子の配偶者」(10.8%)、「孫」(8.1%)、「兄弟・姉妹」・「介護サービスのヘルパー」(同率5.4%)の順となっている。[図表5参照]

図表5 主な介護者・介助者と本人との関係(全体/複数回答)



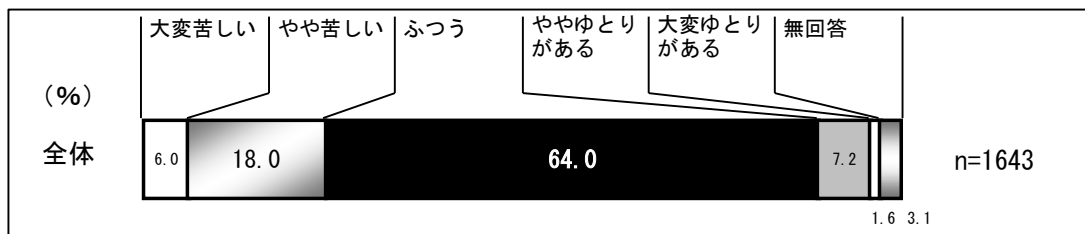
#### (4) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問1 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- 「ふつう」が6割強、「苦しい」は2割強を占め、「ゆとりがある」は1割に満たない。

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」(64.0%)が最も多く、次いで、「やや苦しい」(18.0%)が続き、これに「大変苦しい」(6.0%)をあわせた“苦しい”は24.0%、一方、“ゆとりがある”（「ややゆとりがある」(7.2%)、「大変ゆとりがある」(1.6%)の合計）は8.8%となっている。[図表6参照]

図表6 経済的にみた現在の暮らしの状況（全体）





## 2 からだを動かすことについて

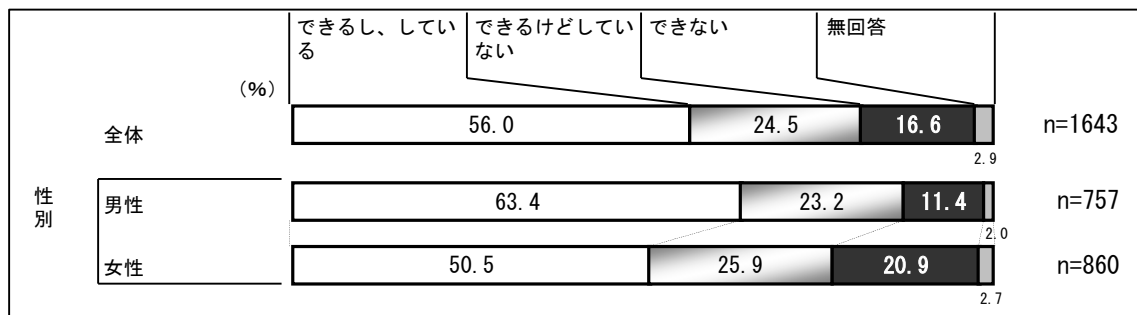
### (1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る

問2 (1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇っていますか。

- 「できるし、している」が6割弱を占める。

階段を手すりや壁を伝わらずに昇っているかどうかについては、「できるし、している」(56.0%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(24.5%)、「できない」(16.6%)となっている。「できるし、している」割合を性別で見ると、男性が63.4%、女性が50.5%と、男性が女性を大きく上回っている。[図表7参照]

図表7 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る(全体・性別)



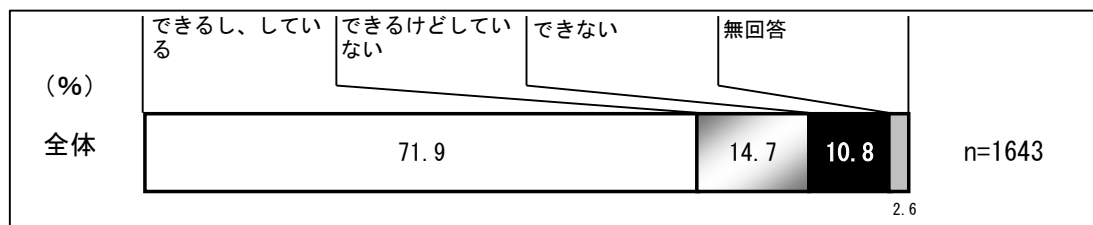
## (2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- 「できるし、している」が7割強を占める。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかどうかについては、「できるし、している」(71.9%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(14.7%)、「できない」(10.8%)となっている。[図表8参照]

図表8 椅子から何もつかまらずに立ち上がる (全体)



## (3) 15分位続けて歩く

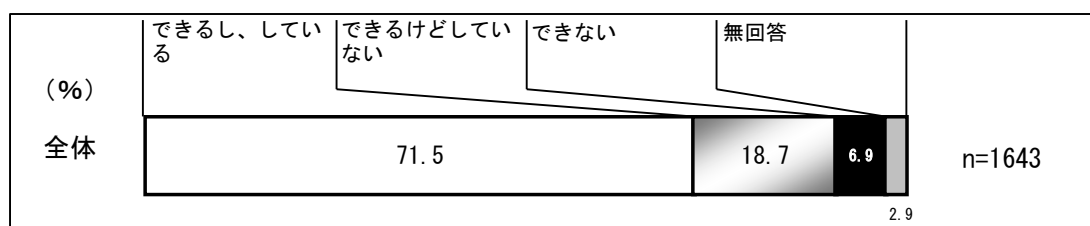
問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。

- 「できるし、している」が7割強を占める。

15分位続けて歩いているかどうかについては、「できるし、している」(71.5%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(18.7%)、「できない」(6.9%)となっている。

[図表9参照]

図表9 15分位続けて歩く (全体)



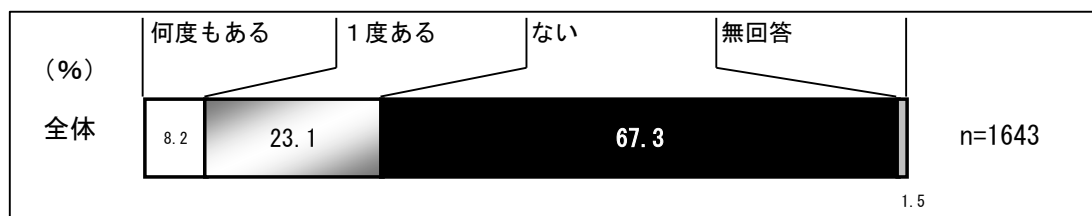
#### (4) 過去1年間の転倒経験

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 「ない」が7割強、一方、「ある」は3割強を占める。

過去1年間の転倒経験については、「ない」(67.3%)が最も多く、次いで、「1度ある」(23.1%)が続き、これに「何度もある」(8.2%)を合わせた“ある”は31.3%となっている。[図表10参照]

図表10 過去1年間の転倒経験 (全体)



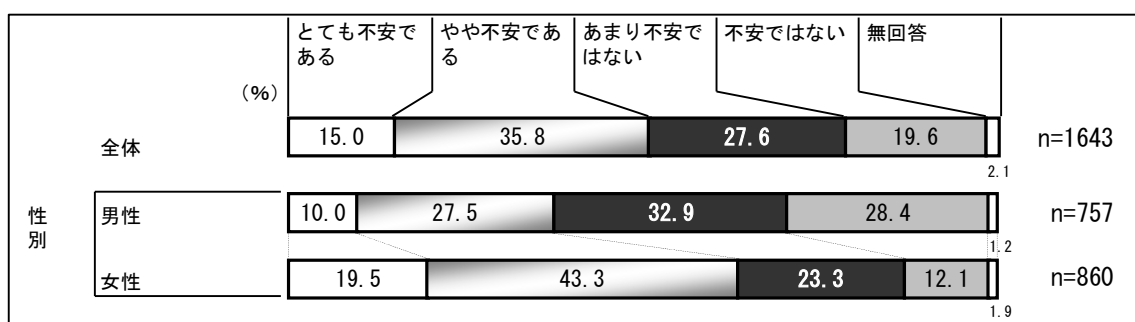
#### (5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。

- “不安である”は5割強、一方、“不安ではない”は5割弱を占める。

転倒に対する不安については、「やや不安である」(35.8%)が最も多く、これに「とても不安である」(15.0%)を合わせた“不安である”は50.8%、一方、“不安ではない”(「あまり不安ではない」(27.6%)、「不安ではない」(19.6%)の合計)は47.2%となっている。“不安である”割合を性別で見ると、女性が62.8%、男性が37.5%と、女性が男性を大きく上回っている。[図表11参照]

図表11 転倒に対する不安 (全体・性別)



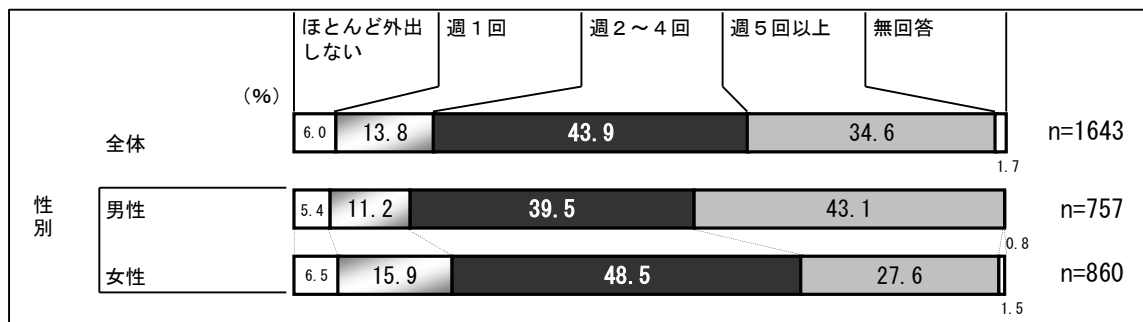
## (6) 週に1回以上の外出

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。

- 「週2～4回」が最も多く、4割強を占める。

週に1回以上の外出については、「週2～4回」(43.9%)が最も多く、次いで、「週5回以上」(34.6%)が続き、以下、「週1回」(13.8%)、「ほとんど外出しない」(6.0%)となっている。性別でみると、「週5回以上」は男性43.1%、女性27.6%と、男性が女性を大きく上回り、外出頻度が高いことがうかがえる。[図表12参照]

図表12 週に1回以上の外出(全体・性別)



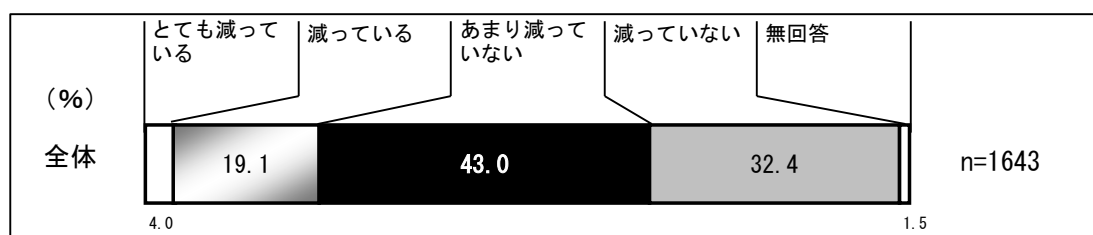
## (7) 昨年と比べて外出の回数が減っている

問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

- “減っていない”は8割弱、一方、“減っている”は2割強を占める。

昨年と比べて外出の回数が減っているかどうかについては、「あまり減っていない」(43.0%)が最も多く、これに「減っていない」(32.4%)を合わせた“減っていない”は75.4%、一方、“減っている”（「減っている」(19.1%)、「とても減っている」(4.0%)の合計）は23.1%となっている。[図表13参照]

図表13 昨年と比べて外出の回数が減っている(全体)



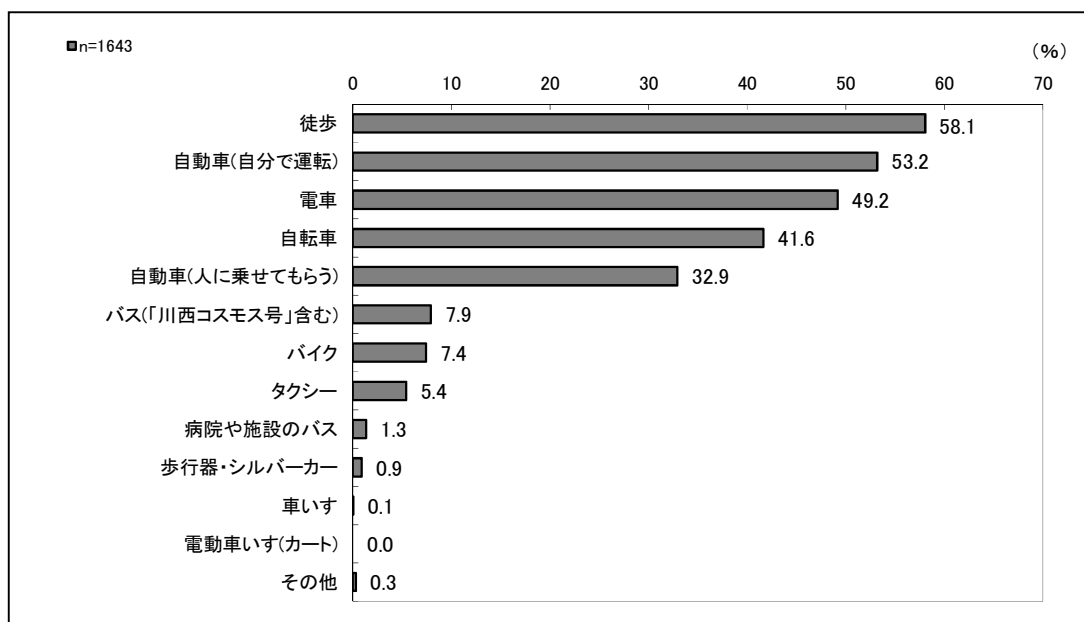
## (8) 外出する際の移動手段

問2 (8) 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

- 「徒歩」が第1位、「自動車(自分で運転)」、「電車」が続く。

外出する際の移動手段については、「徒歩」(58.1%)、「自動車(自分で運転)」(53.2%)、「電車」(49.2%)、「自転車」(41.6%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(32.9%)、「バス(「川西コスモス号」含む)」(7.9%)、「バイク」(7.4%)、「タクシー」(5.4%)、「病院や施設のバス」(1.3%)、「歩行器・シルバーカー」(0.9%)、「車いす」(0.1%)の順となっている。[図表14参照]

図表14 外出する際の移動手段(全体/複数回答)



### 3 食べることについて

#### (1) 身長・体重

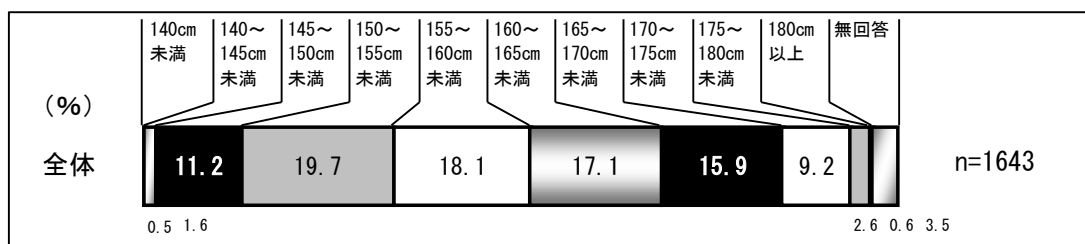
問3 (1) あなたの身長と体重を記入してください。

- 身長は、「150～155cm 未満」が2割弱を占める。
- 体重は、「50～55kg 未満」が2割弱を占める。
- BMIは、「普通体重」が7割弱を占める。

#### ① 身長

身長は、「150～155cm 未満」(19.7%)が最も多く、次いで「155～160cm 未満」(18.1%)が続き、以下、「160～165cm 未満」(17.1%)、「165～170cm 未満」(15.9%)、「145～150cm 未満」(11.2%)、「170～175cm 未満」(9.2%)、「175～180cm 未満」(2.6%)、「140～145cm 未満」(1.6%)、「180cm 以上」(0.6%)、「140cm 未満」(0.5%)となっている。[図表15参照]

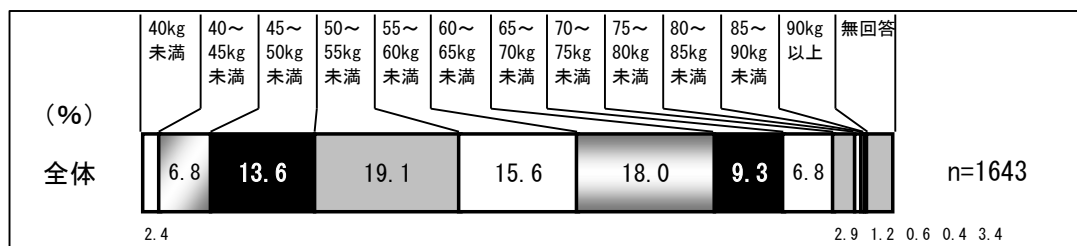
図表15 身長(全体)



#### ② 体重

体重は、「50～55kg 未満」(19.1%)が最も多く、次いで「60～65kg 未満」(18.0%)が続き、以下、「55～60kg 未満」(15.6%)、「45～50kg 未満」(13.6%)、「65～70kg 未満」(9.3%)、「40～45kg 未満」(6.8%)、「70～75kg 未満」(6.8%)、「75～80kg 未満」(2.9%)、「40kg 未満」(2.4%)、「80～85kg 未満」(1.2%)、「85～90kg 未満」(0.6%)、「90kg 以上」(0.4%)となっている。[図表16参照]

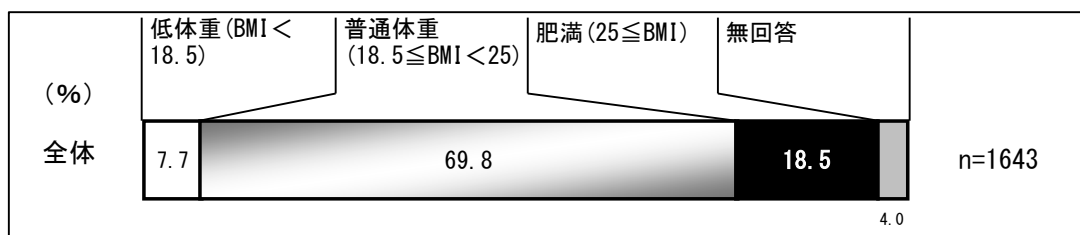
図表16 体重(全体)



### ③ BMI

身長・体重から計算したBMIは、「普通体重(18.5≤BMI<25)」(69.8%)が最も多く、以下、「肥満(25≤BMI)」(18.5%)、「低体重(BMI<18.5)」(7.7%)となっている。[図表17参照]

図表 17 BMI (全体)



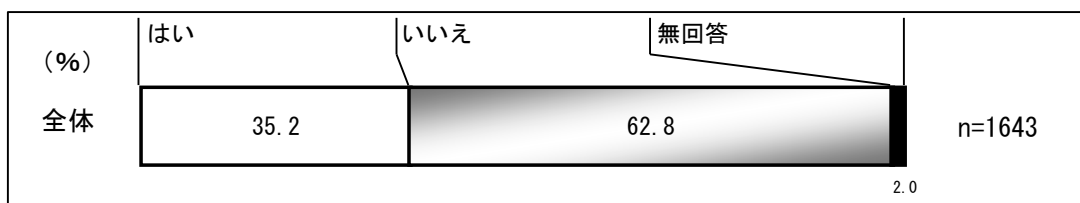
### (2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- 「いいえ」は6割強、一方、「はい」が4割弱を占める。

半年前と比べて固いものが食べにくくなったかどうかについては、「いいえ」が62.8%、「はい」が35.2%となっている。[図表18参照]

図表 18 半年前と比べて固いものが食べにくくなった (全体)



### (3) 歯の数と入れ歯の利用状況

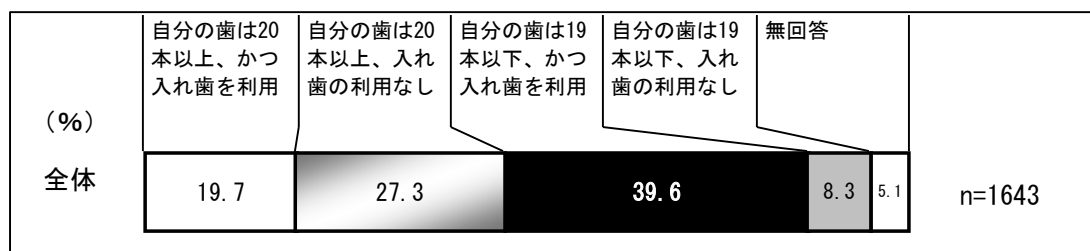
問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- “自分の歯が20本以上”、“自分の歯が19本以下”がともに5割弱。
- “入れ歯の利用がある”は6割弱、一方、“入れ歯の利用がない”は4割弱。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(39.6%)が最も多く、これに「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(8.3%)を合わせた“自分の歯が19本以下”は47.9%、一方、“自分の歯が20本以上”(「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(19.7%)と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(27.3%)の合計)は47.0%となっている。

また、“入れ歯の利用がある”は59.3%、一方、“入れ歯の利用がない”は35.6%となっている。[図表19参照]

図表19 歯の数と入れ歯の利用状況(全体)



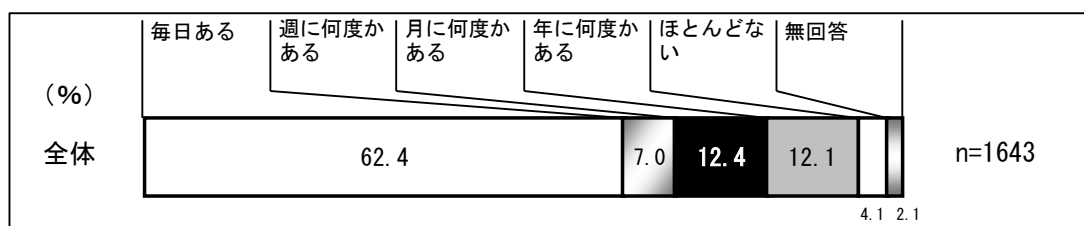
### (4) 誰かと食事をとにもする機会

問3 (4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

- 「毎日ある」が最も多く、6割強を占める。

誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」(62.4%)が最も多く、以下、「月に何度かある」(12.4%)、「年に何度かある」(12.1%)、「週に何度かある」(7.0%)、「ほとんどない」(4.1%)となっている。[図表20参照]

図表20 誰かと食事をとにもする機会(全体)





## 4 毎日の生活について

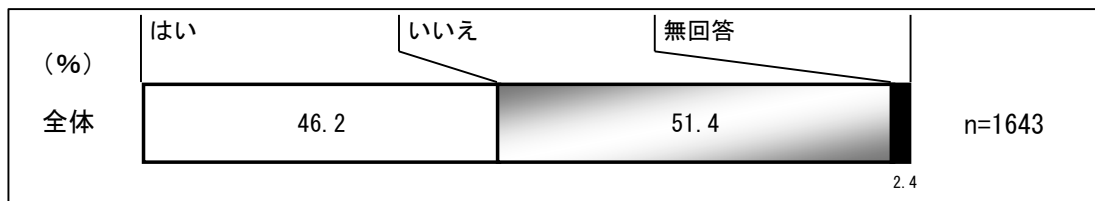
### (1) 物忘れが多いと感じる

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。

- 「いいえ」が5割強、一方、「はい」は5割弱を占める。

物忘れについては、「いいえ」が51.4%、「はい」が46.2%となっている。年齢別にみると、年齢層が高いほど、「はい」の割合が上昇する傾向がうかがえる。[図表21・22参照]

図表21 物忘れが多いと感じる（全体）



図表22 物忘れが多いと感じる（全体・年齢）

（単位：上段 人、下段 %）

		問4 (1) 物忘れが多いと感じる			
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1643	759	845	39
		100.0	46.2	51.4	2.4
年齢	65～69 歳	521	204	307	10
		100.0	39.2	58.9	1.9
	70～74 歳	438	157	270	11
		100.0	35.8	61.6	2.5
	75～79 歳	334	186	143	5
		100.0	55.7	42.8	1.5
	80～84 歳	219	127	85	7
	100.0	58.0	38.8	3.2	
	85～89 歳	84	54	25	5
	100.0	64.3	29.8	6.0	
	90 歳以上	33	26	6	1
	100.0	78.8	18.2	3.0	

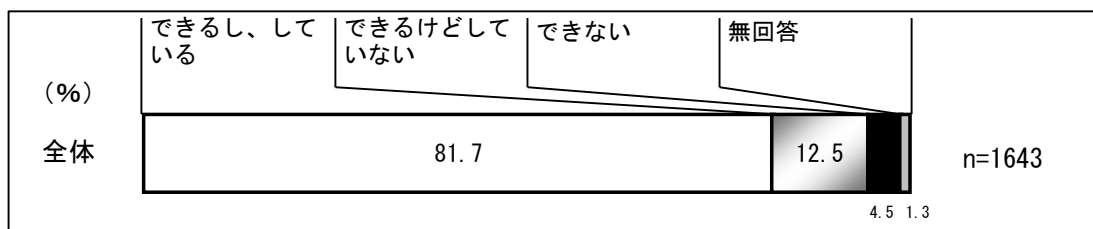
## (2) バスや電車を使って1人で外出している

問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

- 「できるし、している」が8割強を占める。

バスや電車を使って1人で外出しているかどうかについては、「できるし、している」(81.7%)が最も多く、以下、「できるけどしていない」(12.5%)、「できない」(4.5%)となっている。[図表 23 参照]

図表 23 バスや電車を使って1人で外出している(全体)



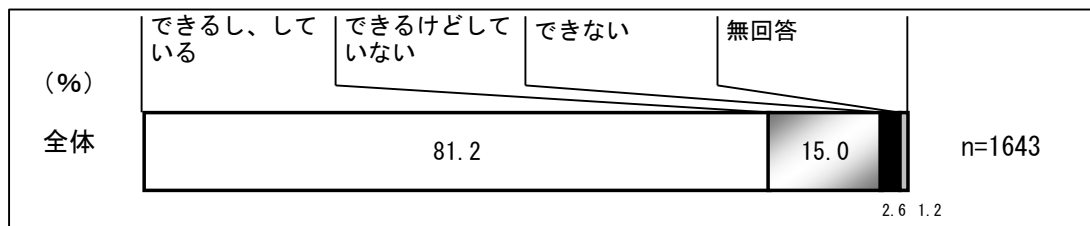
## (3) 自分で食品・日用品の買物をしている

問4 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

自分で食品・日用品の買物をしているかどうかについては、「できるし、している」(81.2%)が最も多く、以下、「できるけどしていない」(15.0%)、「できない」(2.6%)となっている。[図表 24 参照]

図表 24 自分で食品・日用品の買物をしている(全体)



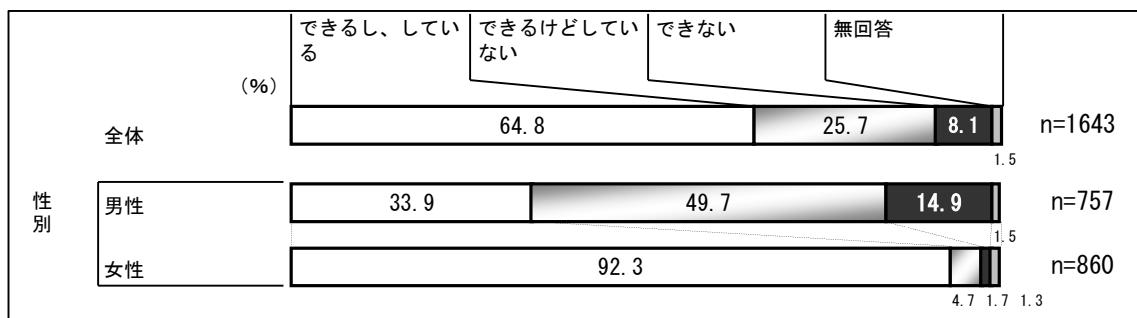
#### (4) 自分で食事の用意をしている

問4 (4) 自分で食事の用意をしていますか。

- 「できるし、している」が6割強を占める。

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」(64.8%)が最も多く、以下、「できるけどしていない」(25.7%)、「できない」(8.1%)となっている。性別で見ると、女性では「できるし、している」が92.3%と圧倒的多数を占める。一方、男性は「できるけどしていない」(49.7%)が最も多く、5割弱を占め、「できるし、している」は3割強にとどまる。[図表 25 参照]

図表 25 自分で食事の用意をしている (全体・性別)



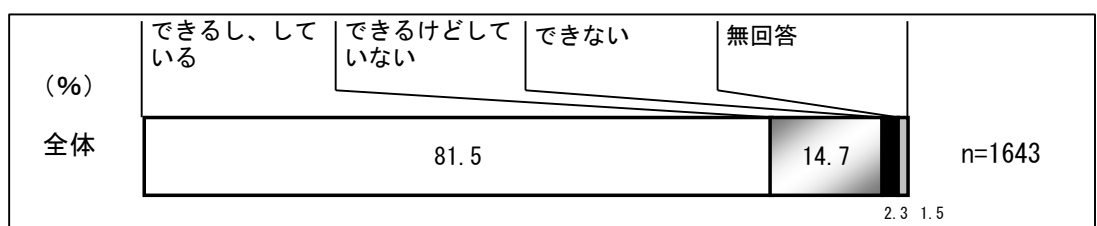
#### (5) 自分で請求書の支払いをしている

問4 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

自分で請求書の支払いをしているかどうかについては、「できるし、している」(81.5%)が最も多く、以下、「できるけどしていない」(14.7%)、「できない」(2.3%)となっている。[図表 26 参照]

図表 26 自分で請求書の支払いをしている (全体)



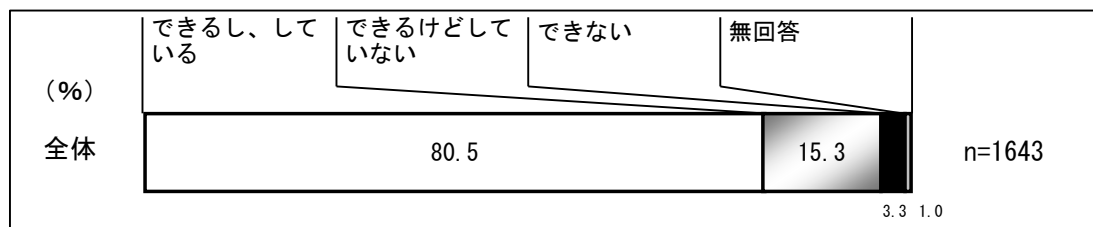
## (6) 自分で預貯金の出し入れをしている

問4 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかについては、「できるし、している」(80.5%)が最も多く、以下、「できるけどしていない」(15.3%)、「できない」(3.3%)となっている。[図表 27 参照]

図表 27 自分で預貯金の出し入れをしている (全体)



## 5 地域での活動について

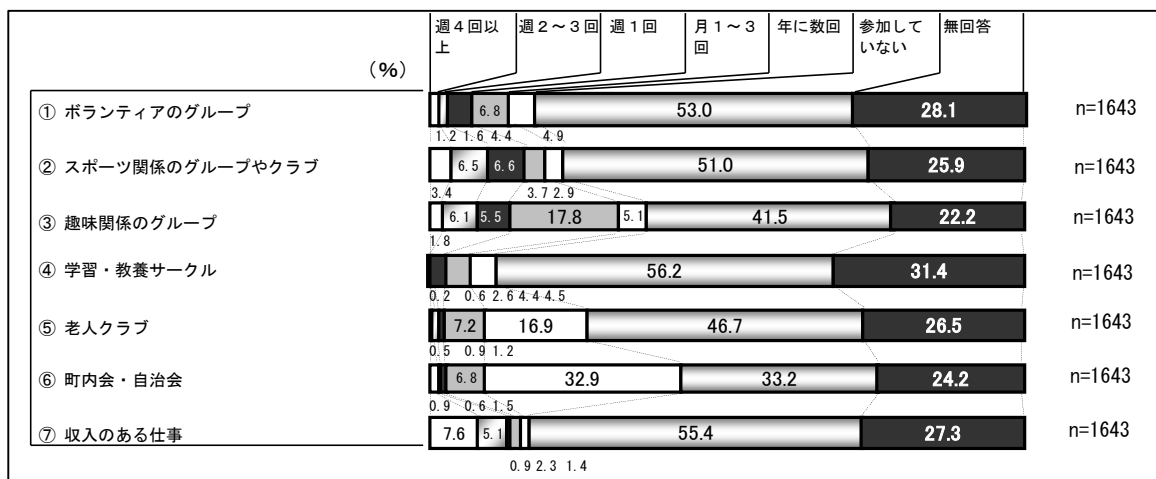
### (1) 会・グループ等への参加状況

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか？

- 「参加していない」の割合が最も低いのは「町内会・自治会」。
- ①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、④学習・教養サークル、⑦収入のある仕事は、「参加していない」が5割を超える。

会・グループ等への参加状況については、下表のとおりとなっている。[図表 28 参照]

図表 28 会・グループ等への参加状況 (全体)



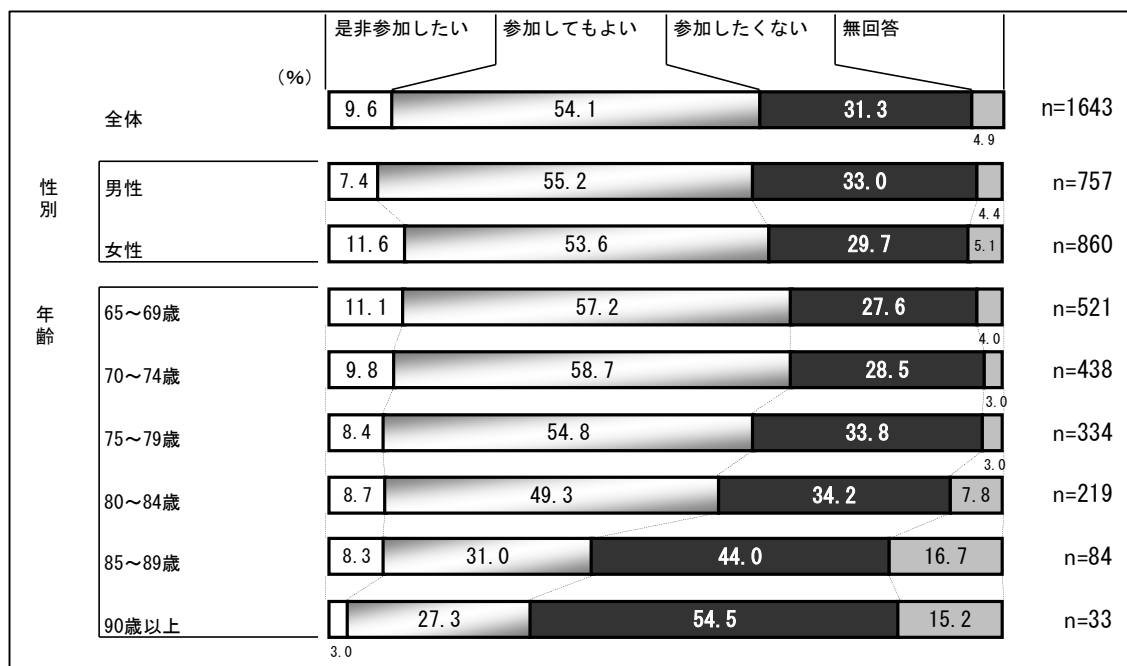
## (2) 地域活動に参加者として参加したいか

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- 「参加してもよい」が5割強を占める。

地域活動に参加者として参加したいかどうかについては、「参加してもよい」(54.1%)、「参加したくない」(31.3%)、「是非参加したい」(9.6%)となっている。年齢別にみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」割合は、おおむね年齢層が低いほど高い傾向がみられる。[図表29参照]

図表29 地域活動に参加者として参加したいか(全体・年齢)



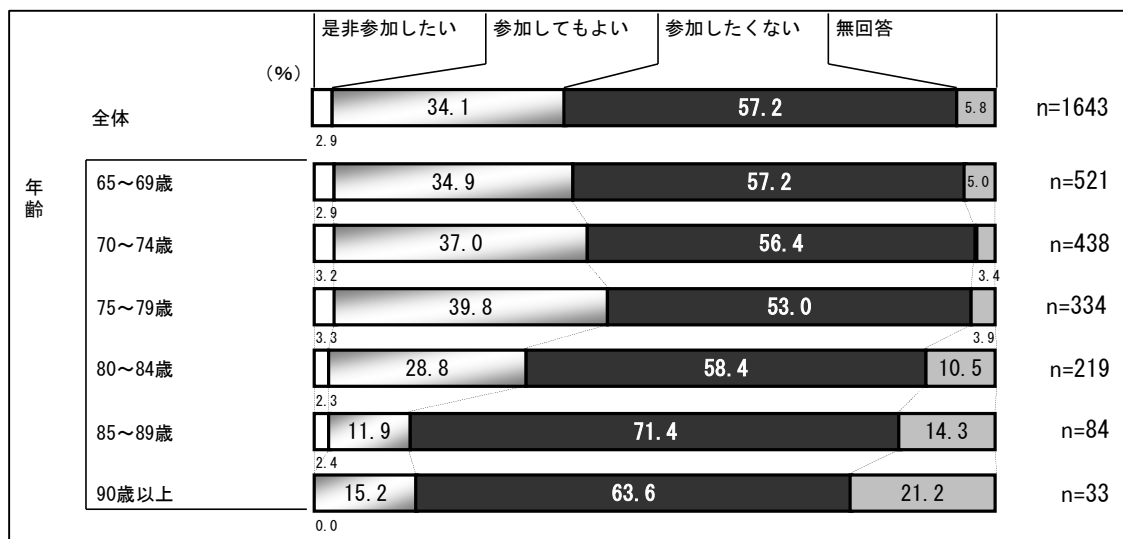
### (3) 地域活動に企画・運営として参加したいか

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

- 「参加したくない」が6割弱を占める。

地域活動に企画・運営として参加したいかどうかについては、「参加したくない」(57.2%)、「参加してもよい」(34.1%)、「是非参加したい」(2.9%)となっている。年齢別にみると、「参加してもよい」は75~79歳(39.8%)が最も高く、4割弱を占め、80歳以上では、参加意向が大きく低下する。[図表30参照]

図表30 地域活動に企画・運営として参加したいか(全体・年齢)



## 6 たすけあいについて

### (1) たすけあいについて

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

- (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。【複数回答】
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。【複数回答】
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。【複数回答】
- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。【複数回答】



- すべての項目で「配偶者」が第1位。

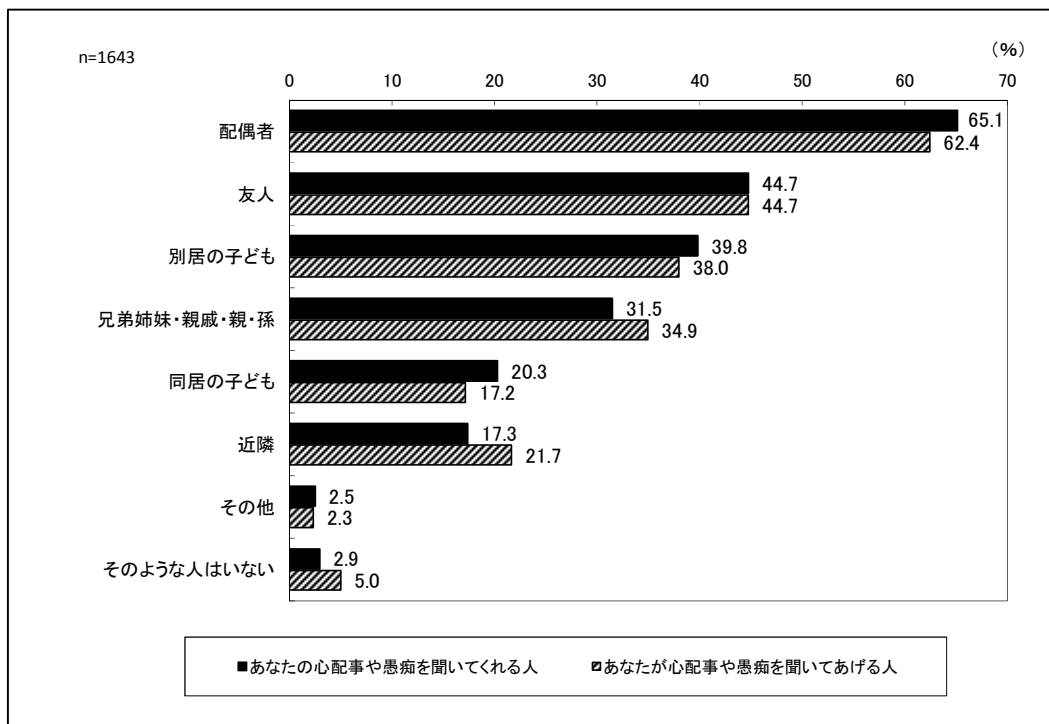
#### ① 心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(65.1%)、「友人」(44.7%)、「別居の子ども」(39.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.5%)、「同居の子ども」(20.3%)、「近隣」(17.3%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は2.9%となっている。家族構成別でみると、同居者がいる場合はその同居者、1人暮らしの場合は「友人」、「別居の子ども」が主な相手となっている。性別でみると、男性では「配偶者」(80.1%)が8割を占めるが、女性では「友人」(53.3%)が最も多く、「配偶者」(52.4%)とともに5割強を占める。

反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」(62.4%)、「友人」(44.7%)、「別居の子ども」(38.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.9%)、「近隣」(21.7%)、「同居の子ども」(17.2%)の順となっており、「聞いてくれる人」と比べると「近隣」が「同居の子ども」より順位が高くなっている。性別でみると、男性では「配偶者」(77.9%)が最も多く8割弱を占めるが、女性では「友人」(53.1%)が最も多く5割強を占め、「配偶者」(49.2%)は5割弱となっている。[図表31・32・33参照]



図表 31 心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人（全体／複数回答）



図表 32 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体・性別・家族構成／複数回答）

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 65.1	友人 44.7	別居の子ども 39.8
性別	男性	配偶者 80.1	友人 35.5	別居の子ども 31.2
	女性	友人 53.3	配偶者 52.4	別居の子ども 47.0
家族構成	1人暮らし	別居の子ども／友人 53.8		兄弟姉妹・親戚・親・孫 35.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	配偶者 84.9	別居の子ども 46.7	友人 45.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	配偶者 75.7	友人 31.1	兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.4
	息子・娘との2世帯	同居の子ども 56.8	配偶者 54.8	友人 41.9
	その他	配偶者 60.6	同居の子ども 46.9	友人 41.3

図表 33 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体・性別／複数回答）

（単位：％）

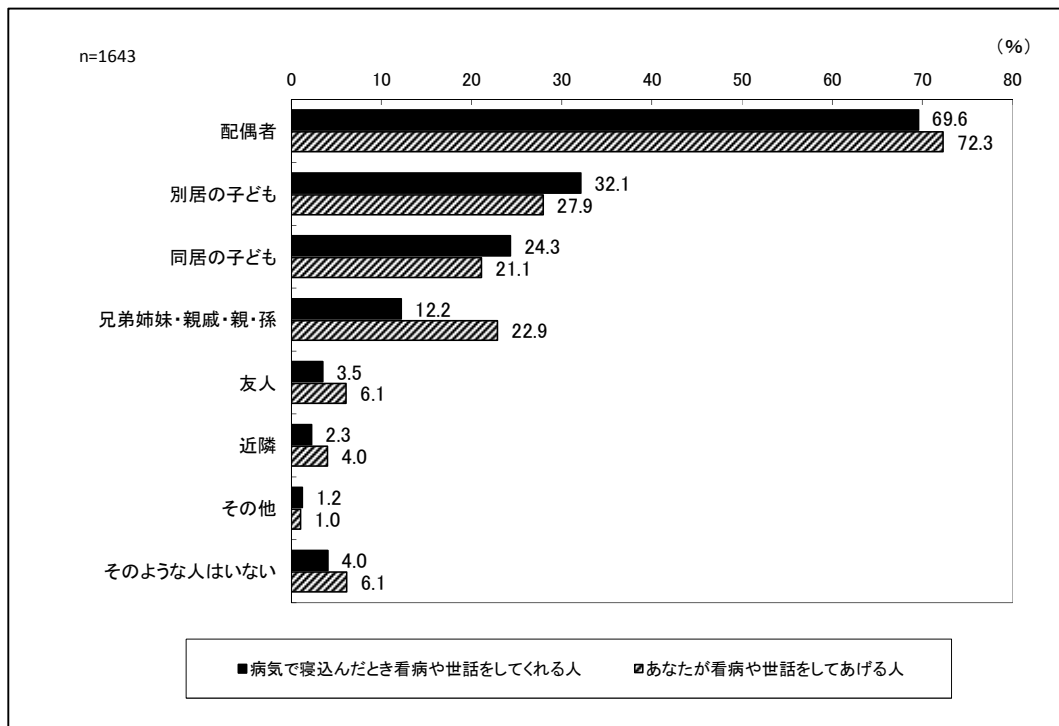
		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		配偶者 62.4	友人 44.7	別居の子ども 38.0
性別	男性	配偶者 77.9	友人 35.8	別居の子ども 32.8
	女性	友人 53.1	配偶者 49.2	別居の子ども 42.1

② 看病や世話をしてくれる人・してあげる人

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(69.6%)、「別居の子ども」(32.1%)、「同居の子ども」(24.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(12.2%)、「友人」(3.5%)、「近隣」(2.3%)の順となっている。なお、「そのような人はいない」は4.0%となっている。

反対に、看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」(72.3%)、「別居の子ども」(27.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.9%)、「同居の子ども」(21.1%)、「友人」(6.1%)、「近隣」(4.0%)の順となっている。「世話をしてくれる人」と比べると、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が「同居の子ども」よりも順位が高くなっている。[図表 34 参照]

図表 34 看病や世話をしてくれる人・してあげる人（全体／複数回答）



## 7 健康について

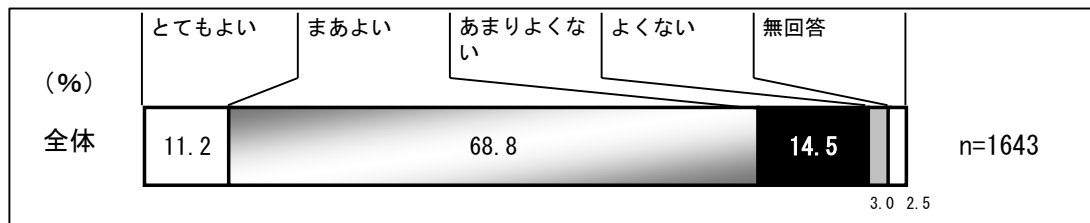
### (1) 現在の健康状態

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- “よい”は8割、一方、“よくない”は2割弱を占める。

現在の健康状態については、「まあよい」(68.8%)が最も多く、これに「とてもよい」(11.2%)をあわせた“よい”は80.0%、一方、“よくない”（「あまりよくない」(14.5%)、「よくない」(3.0%)の合計）は17.5%となっている。[図表35参照]

図表35 現在の健康状態（全体）



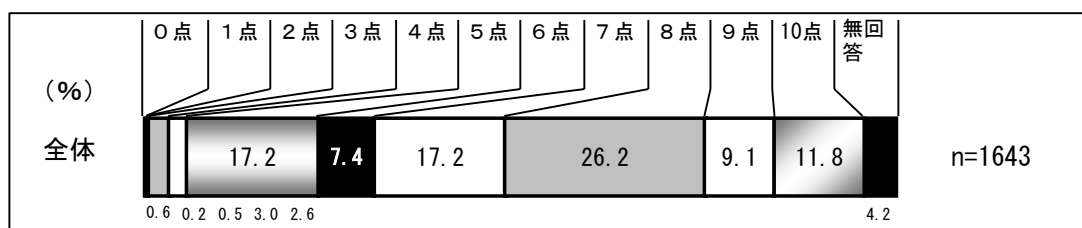
### (2) 現在の幸せの程度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください。

- 「8点」が最も多く、3割弱を占める。

現在の幸せの程度については、「8点」(26.2%)、「7点」・「5点」(同率17.2%)、「10点」(11.8%)、「9点」(9.1%)、「6点」(7.4%)、「3点」(3.0%)、「4点」(2.6%)、「0点」(0.6%)、「2点」(0.5%)、「1点」(0.2%)となっている。[図表36参照]

図表36 現在の幸せの程度（全体）



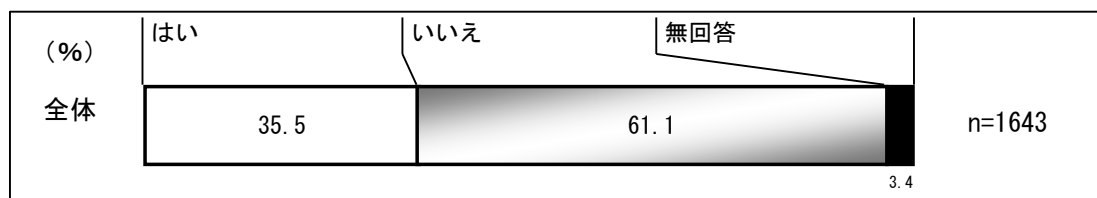
### (3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 「いいえ」が6割強、一方、「はい」は4割弱を占める。

気分が沈んだりゆううつな気持ちになることがあるかどうかについては、「いいえ」が61.1%、「はい」が35.5%となっている。[図表37参照]

図表37 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる(全体)



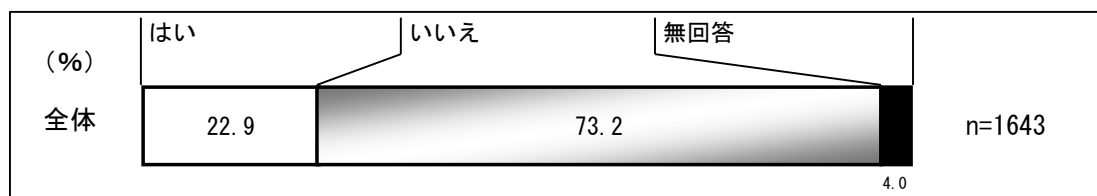
### (4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- 「いいえ」が7割強、一方、「はい」は2割強を占める。

物事に対して興味がわからない、心から楽しめないことがあるかどうかについては、「いいえ」が73.2%、「はい」が22.9%となっている。[図表38参照]

図表38 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない(全体)



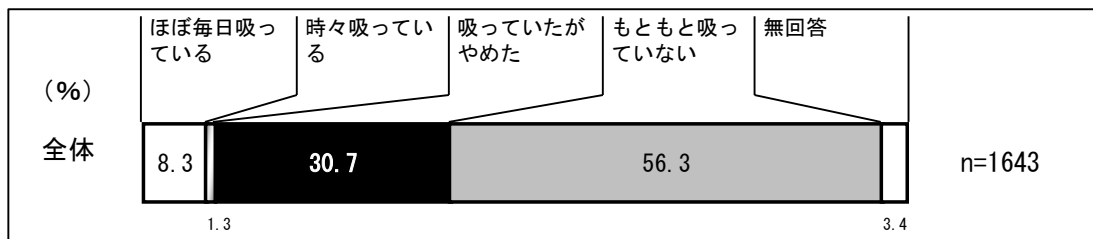
### (5) タバコを吸っているか

問7 (5) タバコは吸っていますか。

- “吸っていない”は9割弱、一方、“吸っている”は1割弱を占める。

タバコを吸っているかどうかについては、「もともと吸っていない」(56.3%)が最も多く、これに「吸っていたがやめた」(30.7%)を合わせた“吸っていない”が87.0%、一方、“吸っている”(「ほぼ毎日吸っている」(8.3%)、「時々吸っている」(1.3%)の合計)は9.6%となっている。[図表 39 参照]

図表 39 タバコを吸っているか (全体)



## (6) 現在治療中または後遺症のある病気

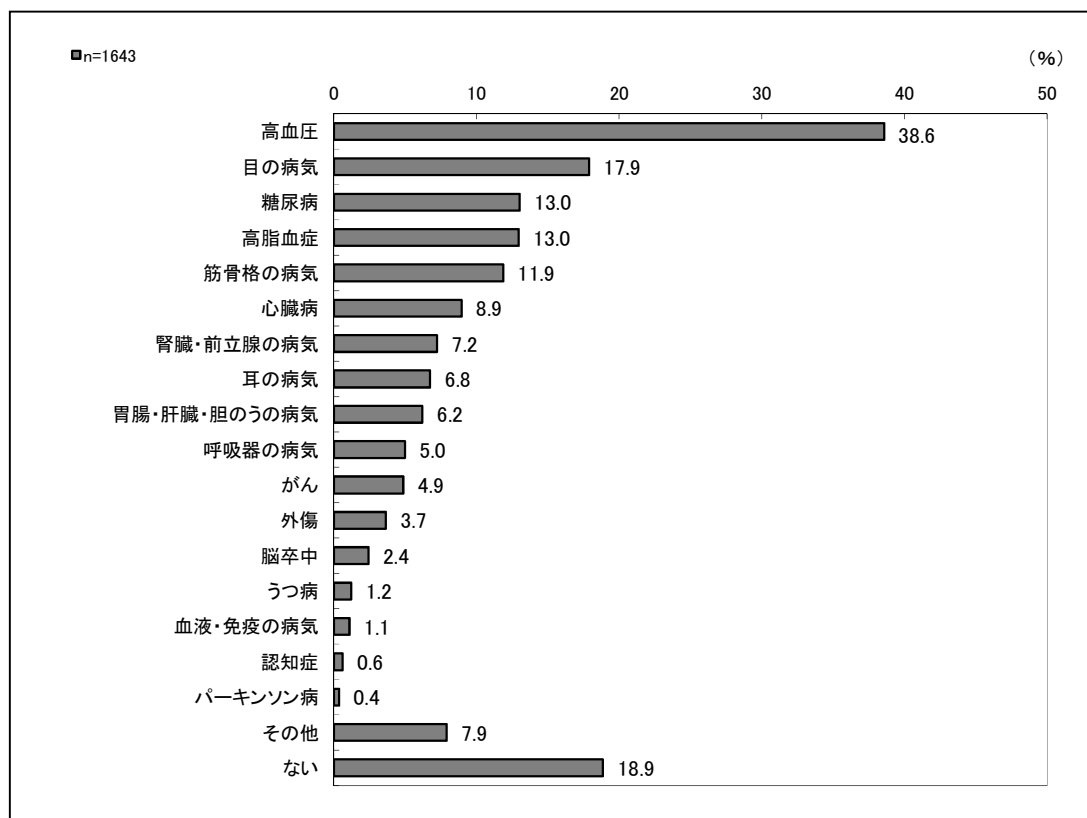
問7(6) 現在治療中または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

- 「高血圧」が他を引き離して第1位。

現在治療中または後遺症のある病気については、具体的には「高血圧」(38.6%)、「目の病気」(17.9%)、「糖尿病」・「高脂血症」(同率13.0%)、「筋骨格の病気」(11.9%)、「心臓病」(8.9%)、「腎臓・前立腺の病気」(7.2%)、「耳の病気」(6.8%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(6.2%)、「呼吸器の病気」(5.0%)、「がん」(4.9%)、「外傷」(3.7%)、「脳卒中」(2.4%)、「うつ病」(1.2%)、「血液・免疫の病気」(1.1%)、「認知症」(0.6%)、「パーキンソン病」(0.4%)の順となっている。なお、「ない」は18.9%となっている。

[図表40参照]

図表40 現在治療中または後遺症のある病気について(全体/複数回答)



## 8 健康づくり・介護予防・認知症施策について

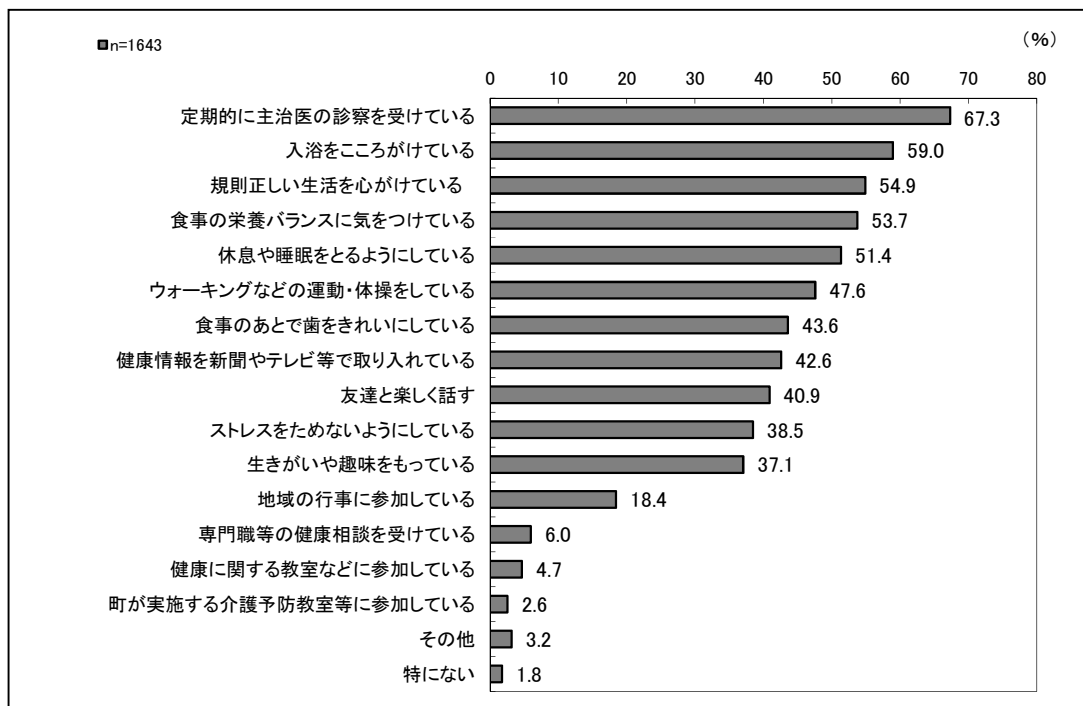
### (1) 健康維持のために心がけていること

問8 (1) あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。【複数回答】

- 「定期的に主治医の診察を受けている」が第1位、「入浴をこころがけている」、「規則正しい生活を心がけている」が続く。

健康維持のために心がけていることについては、「定期的に主治医の診察を受けている」(67.3%)、「入浴をこころがけている」(59.0%)、「規則正しい生活を心がけている」(54.9%)、「食事の栄養バランスに気をつけている」(53.7%)、「休息や睡眠をとるようにしている」(51.4%)、「ウォーキングなどの運動・体操をしている」(47.6%)、「食事のあとで歯をきれいにしている」(43.6%)、「健康情報を新聞やテレビ等で取り入れている」(42.6%)、「友達と楽しく話す」(40.9%)、「ストレスをためないようにしている」(38.5%)、「生きがいや趣味をもっている」(37.1%)、「地域の行事に参加している」(18.4%)、「専門職等の健康相談を受けている」(6.0%)、「健康に関する教室などに参加している」(4.7%)、「町が実施する介護予防教室等に参加している」(2.6%)の順となっている。なお、「特にない」は1.8%となっている。[図表41参照]

図表41 健康維持のために心がけていること（全体／複数回答）



## (2) 週1回以上の運動

問8 (2) あなたは、運動を週1回以上習慣的に行っていますか。

- 「行っている」が5割弱、一方、「行っていない」が4割強を占める。

週1回以上の運動については、「行っている」が47.9%、「行っていない」が42.4%となっている。[図表42参照]

図表42 週1回以上の運動（全体）

(%)	行っている	行っていない	無回答	
全体	47.9	42.4	9.7	n=1643

## (3) 運動の実践状況

※(2)で「1.」と回答した方にお伺いします。  
 (3) あなたの運動の実践状況について、以下のA~Cそれぞれについてお答えください。  
 A 1週間の運動回数  
 B 1回の運動時間  
 C 継続期間

- 1週間の運動回数は「2回以上」が7割強を占める。
- 1回の運動時間は「30分以上」が7割強を占める。
- 継続期間は「1年以上」が8割弱を占める。

(2)で「1.行っている」と回答した人に、運動の実践状況についてたずねた。

### A 1週間の運動回数

1週間の運動回数は、「2回以上」が73.8%、「1回」が15.8%となっている。[図表43参照]

図表43 1週間の運動回数（全体）

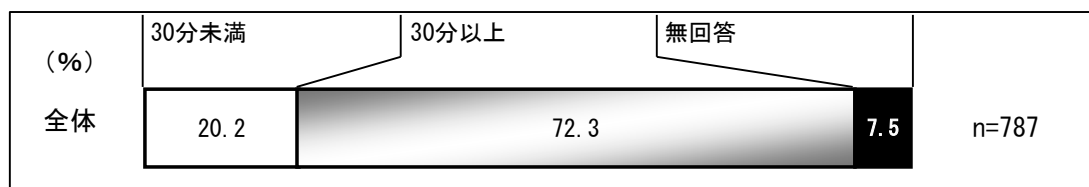
(%)	1回	2回以上	無回答	
全体	15.8	73.8	10.4	n=787



## B 1回の運動時間

1回の運動時間は、「30分以上」が72.3%、「30分未満」が20.2%となっている。[図表44参照]

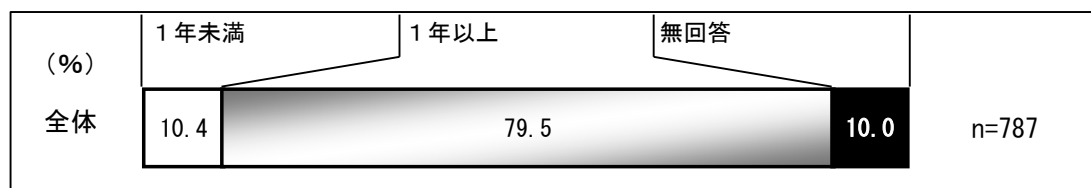
図表44 1回の運動時間（全体）



## C 継続期間

継続期間は、「1年以上」が79.5%、「1年未満」が10.4%となっている。[図表45参照]

図表45 継続期間（全体）



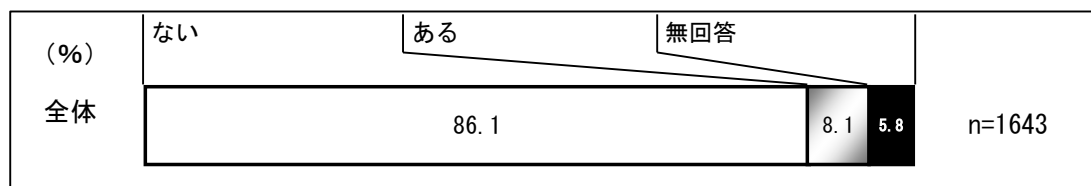
## (4) 町の介護予防教室や講座への参加経験

問8(4) これまで、町が実施している介護予防の教室や講座に参加したことがありますか。

- 「ない」が9割弱、「ある」が1割弱。

町の介護予防教室や講座への参加経験については、「ない」が86.1%、「ある」が8.1%となっている。[図表46参照]

図表46 町の介護予防教室や講座への参加経験（全体）



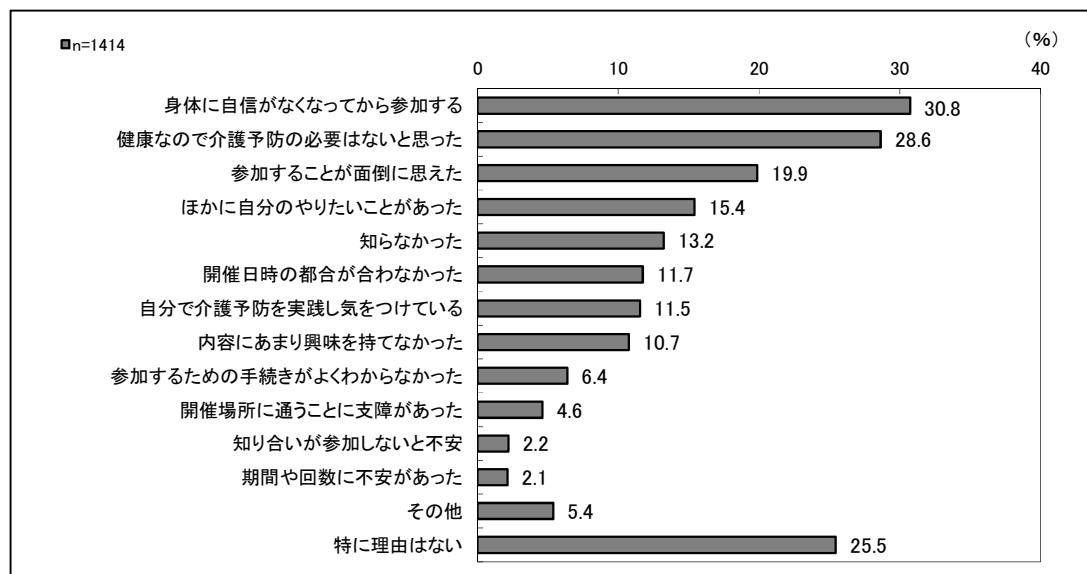
## (5) 参加してこなかった理由

※(4)で「1.」と回答した方にお伺いします。  
 問8(5) 町が実施している介護予防の取り組みに参加してこなかった理由は何ですか。  
 【複数回答】

- 「身体に自信がなくなってから参加する」が第1位、「健康なので介護予防の必要はないと思った」、「参加することが面倒に思えた」が続く。

(2)で「1.ない」と回答した人に、その理由についてたずねたところ、具体的には「身体に自信がなくなってから参加する」(30.8%)、「健康なので介護予防の必要はないと思った」(28.6%)、「参加することが面倒に思えた」(19.9%)、「ほかに自分のやりたいことがあった」(15.4%)、「知らなかった」(13.2%)、「開催日時の都合が合わなかった」(11.7%)、「自分で介護予防を実践し気をつけている」(11.5%)、「内容にあまり興味を持てなかった」(10.7%)、「参加するための手続きがよくわからなかった」(6.4%)、「開催場所に通うことに支障があった」(4.6%)、「知り合いが参加しないと不安」(2.2%)、「期間や回数に不安があった」(2.1%)の順となっている。なお、「特に理由はない」は25.5%となっている。[図表47参照]

図表47 参加してこなかった理由(全体/複数回答)



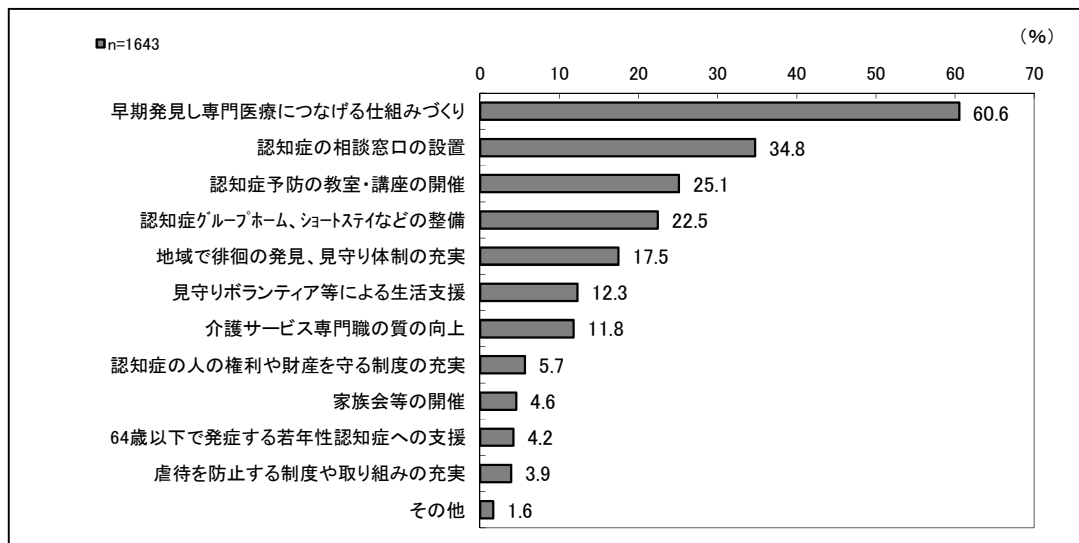
## (6) 今後重点を置くべき認知症対策

問8 (6) 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。【複数回答】

- 「早期発見し専門医療につなげる仕組みづくり」が他を引き離して第1位。

今後重点を置くべき認知症対策については、「早期発見し専門医療につなげる仕組みづくり」(60.6%)、「認知症の相談窓口の設置」(34.8%)、「認知症予防の教室・講座の開催」(25.1%)、「認知症グループホーム、ショートステイなどの整備」(22.5%)、「地域で徘徊の発見、見守り体制の充実」(17.5%)、「見守りボランティア等による生活支援」(12.3%)、「介護サービス専門職の質の向上」(11.8%)、「認知症の人の権利や財産を守る制度の充実」(5.7%)、「家族会等の開催」(4.6%)、「64歳以下で発症する若年性認知症への支援」(4.2%)、「虐待を防止する制度や取り組みの充実」(3.9%)の順となっている。[図表48参照]

図表48 今後重点を置くべき認知症対策（全体／複数回答）



## 9 日常生活について

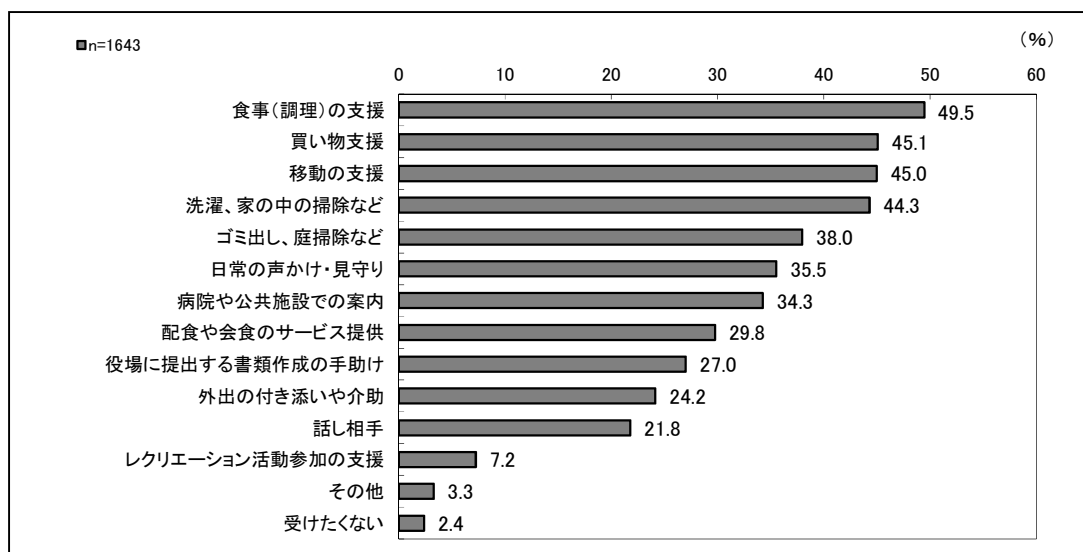
### (1) 自身が要介護となったとき日常的に受けたい支援

問9 (1) あなたご自身に介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援は何ですか。【複数回答】

- 「食事（調理）の支援」が第1位、「買い物支援」、「移動の支援」、「洗濯、家の中の掃除など」が続く。

自身が要介護となったとき日常的に受けたい支援については、「食事（調理）の支援」（49.5%）、「買い物支援」（45.1%）、「移動の支援」（45.0%）、「洗濯、家の中の掃除など」（44.3%）、「ゴミ出し、庭掃除など」（38.0%）、「日常の声かけ・見守り」（35.5%）、「病院や公共施設での案内」（34.3%）、「配食や会食のサービス提供」（29.8%）、「役場に提出する書類作成の手助け」（27.0%）、「外出の付き添いや介助」（24.2%）、「話し相手」（21.8%）、「レクリエーション活動参加の支援」（7.2%）の順となっている。なお、「受けたくない」は2.4%となっている。[図表 49 参照]

図表 49 自身が要介護となったとき日常的に受けたい支援（全体／複数回答）



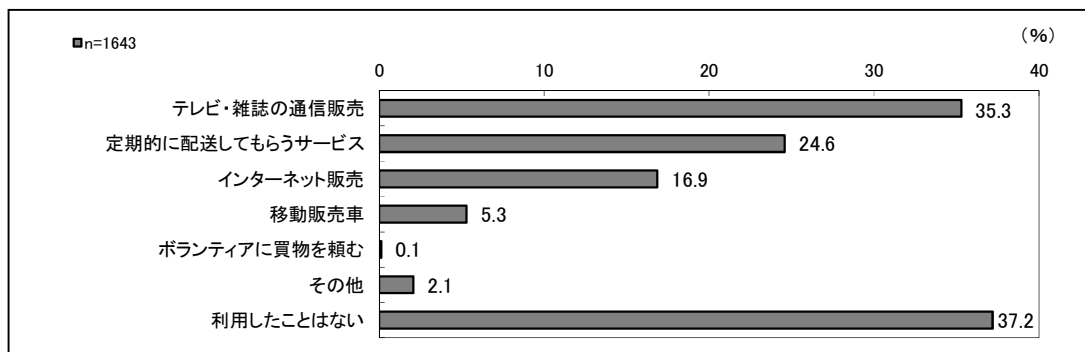
## (2) 利用経験のある買物サービスなど

問9 (2) あなたは、次のような方法で買い物をした経験がありますか。【複数回答】

- 「テレビ・雑誌の通信販売」が第1位。

利用経験のある買物サービスなどについては、具体的には、「テレビ・雑誌の通信販売」(35.3%)、「定期的に配送してもらうサービス」(24.6%)、「インターネット販売」(16.9%)、「移動販売車」(5.3%)、「ボランティアに買物を頼む」(0.1%)の順となっている。なお、「利用したことはない」は37.2%となっている。[図表50参照]

図表50 利用経験のある買物サービスなど（全体／複数回答）



## 10 町の施策や介護保険制度について

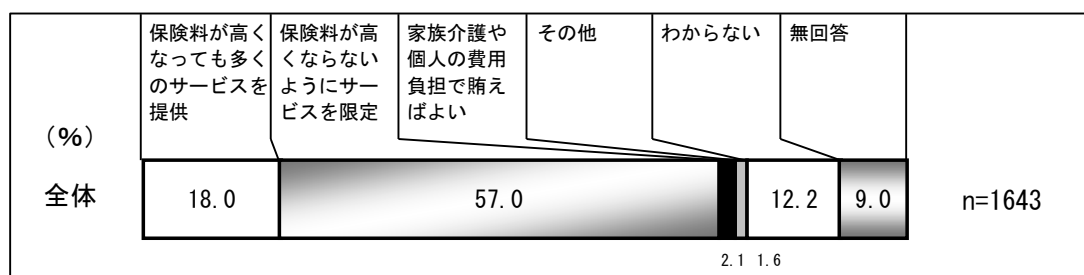
### (1) 介護保険制度のサービスなどの範囲について

問 10 (1) 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。

- 「保険料が高くならないようにサービスを限定」が6割弱を占める。

介護保険制度のサービスなどの範囲については、「保険料が高くならないようにサービスを限定」(57.0%)が最も多く、以下、「保険料が高くなっても多くのサービスを提供」(18.0%)、「家族介護や個人の費用負担で賄えばよい」(2.1%)となっている。年齢別にみると、年齢層が低いほど「保険料が高くならないようにサービスを限定」の意向が強い傾向がみられる。[図表 51・52 参照]

図表 51 介護保険制度のサービスなどの範囲について (全体)



図表 52 介護保険制度のサービスなどの範囲について (全体・年齢)

(単位：上段 人、下段 %)

	合計	問 10 (1) 介護保険制度のサービスなどの範囲について						
		保険料が高くなっても多くのサービスを提供	保険料が高くならないようにサービスを限定	家族介護や個人の費用負担で賄えばよい	その他	わからない	無回答	
全体	1643	296	936	35	27	201	148	
	100.0	18.0	57.0	2.1	1.6	12.2	9.0	
年齢	65～69 歳	521	87	321	13	12	58	30
		100.0	16.7	61.6	2.5	2.3	11.1	5.8
	70～74 歳	438	79	263	8	4	53	31
		100.0	18.0	60.0	1.8	0.9	12.1	7.1
	75～79 歳	334	72	180	4	5	44	29
		100.0	21.6	53.9	1.2	1.5	13.2	8.7
	80～84 歳	219	41	117	5	2	26	28
	100.0	18.7	53.4	2.3	0.9	11.9	12.8	
85～89 歳	84	13	39	3	1	9	19	
	100.0	15.5	46.4	3.6	1.2	10.7	22.6	
90 歳以上	33	3	10	2	1	10	7	
	100.0	9.1	30.3	6.1	3.0	30.3	21.2	

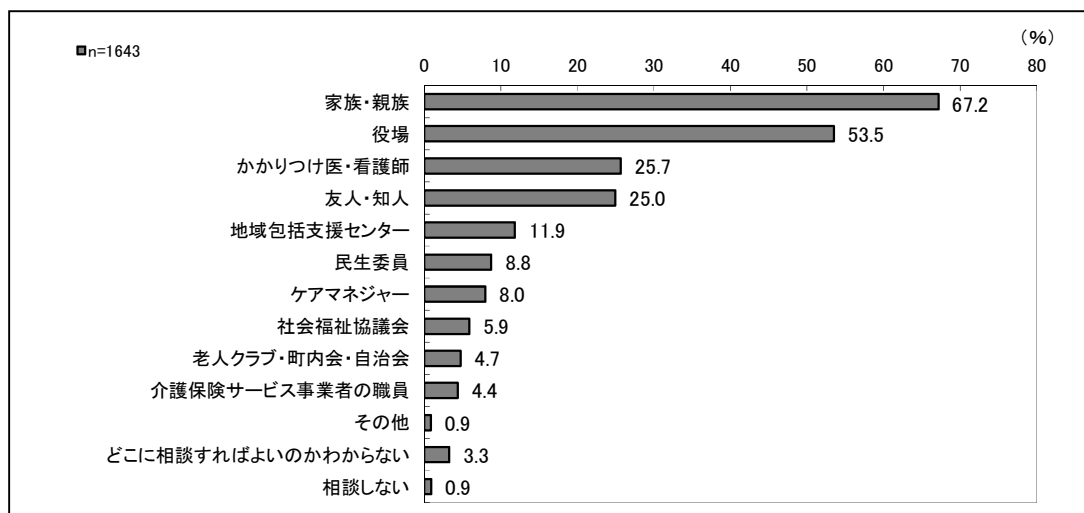
## (2) 困ったこと、わからないことの相談先

問 10 (2) あなたや家族が、困ったことやわからないことがあったとき、誰に相談しますか。【複数回答】

- 「家族・親族」が第1位、「役場」が続く。

困ったこと、わからないことの相談先については、「家族・親族」(67.2%)、「役場」(53.5%)、「かかりつけ医・看護師」(25.7%)、「友人・知人」(25.0%)、「地域包括支援センター」(11.9%)、「民生委員」(8.8%)、「ケアマネジャー」(8.0%)、「社会福祉協議会」(5.9%)、「老人クラブ・町内会・自治会」(4.7%)、「介護保険サービス事業者の職員」(4.4%)の順となっている。なお、「どこに相談すればよいのかわからない」は3.3%、「相談しない」は0.9%となっている。[図表 53 参照]

図表 53 困ったこと、わからないことの相談先 (全体/複数回答)



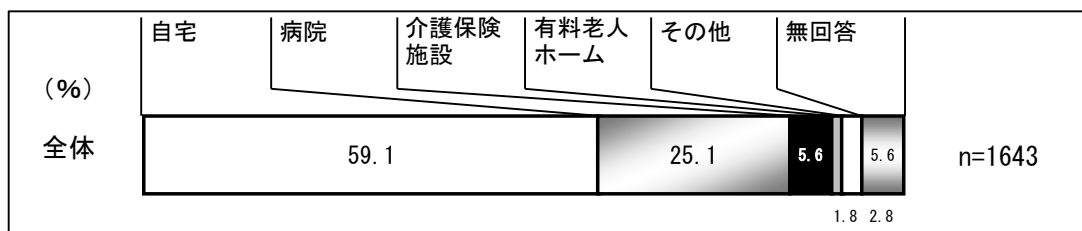
### (3) どこで人生の最期を迎えたいか

問 10 (3) もし、人生の最期を迎えるとしたら、あなたはどこで迎えたいですか。

- 「自宅」が6割弱を占める。

どこで人生の最期を迎えたいかについては、「自宅」(59.1%)が最も多く、次いで、「病院」(25.1%)が続き、以下、「介護保険施設」(5.6%)、「有料老人ホーム」(1.8%)となっている。[図表 54 参照]

図表 54 どこで人生の最期を迎えたいか (全体)



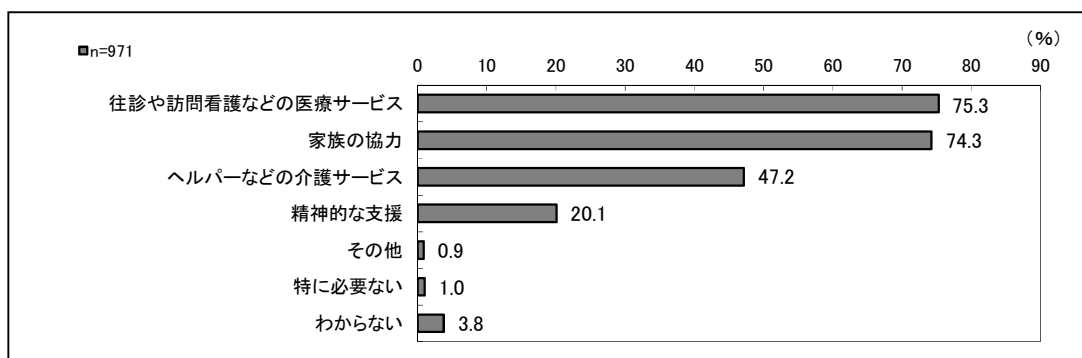
### (4) 自宅でターミナル期を迎えるために必要な支援

※ (3) で「1. 自宅」と回答した方にお伺いします。  
問 10 (4) 自宅でターミナル期 (最期の看取り) を迎えるためにどのような支援が必要だと考えますか。【複数回答】

- 「往診や訪問看護などの医療サービス」、「家族の協力」が2大要望。

(3) で「1. 自宅」と回答した方に、自宅でターミナル期を迎えるために必要な支援についてたずねたところ、「往診や訪問看護などの医療サービス」(75.3%)、「家族の協力」(74.3%)、「ヘルパーなどの介護サービス」(47.2%)、「精神的な支援」(20.1%)の順となっている。なお、「特に必要ない」は1.0%となっている。[図表 55 参照]

図表 55 自宅でターミナル期を迎えるために必要な支援 (全体/複数回答)





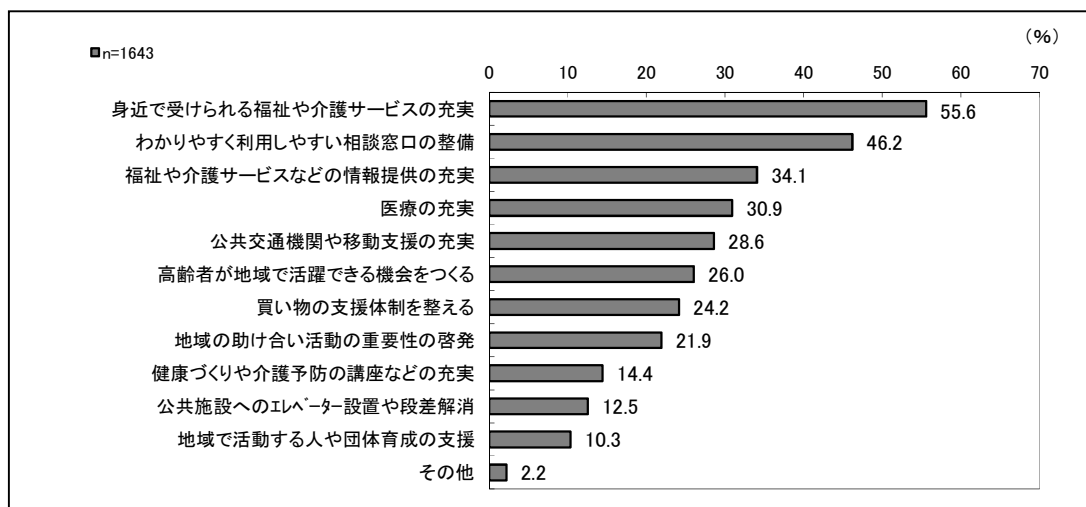
## (5) 町が重点的に進めるべき高齢者のためのまちづくり

問 10 (5) 高齢者にとって暮らしやすいまちになるために、町が重点的に進めるべきことは何だと考えますか。【複数回答】

- 「身近で受けられる福祉や介護サービスの充実」が第1位、「わかりやすく利用しやすい相談窓口の整備」が続く。

町が重点的に進めるべき高齢者のためのまちづくりについては、「身近で受けられる福祉や介護サービスの充実」(55.6%)、「わかりやすく利用しやすい相談窓口の整備」(46.2%)、「福祉や介護サービスなどの情報提供の充実」(34.1%)、「医療の充実」(30.9%)、「公共交通機関や移動支援の充実」(28.6%)、「高齢者が地域で活躍できる機会をつくる」(26.0%)、「買い物の支援体制を整える」(24.2%)、「地域の助け合い活動の重要性の啓発」(21.9%)、「健康づくりや介護予防の講座などの充実」(14.4%)、「公共施設へのエレベーター設置や段差解消」(12.5%)、「地域で活動する人や団体育成の支援」(10.3%)の順となっている。[図表 56 参照]

図表 56 町が重点的に進めるべき高齢者のためのまちづくり（全体／複数回答）





# 資 料



## 自由意見

区分	ご意見・ご提案
医療・病院	眼科、耳鼻科、整形外科、皮膚科が近くにほしい。
	耳鼻科や眼科、皮膚科など、専門医療機関の充実。
	病院（眼科、耳鼻科、整形外科等）がない。
	大きい病院への通院が不便。
	信頼できる病院があるとよい。
	病院が駅近くにあれば助かる。
	いつでも気軽に病院で診てもらえるようにしてほしい。
	自宅近辺に医院がほしい。
	町内には内科しかないので、他の科の医院を勧誘してほしい。
	整形外科がほしい。電車での通院は大変。
	川西町には看取医がない。
	病院併設の介護施設を町内につくってほしい。
介護保険制度	介護充実もほどほどでないと維持できない。
	財政を考えた社会保障、サービスのありかたを考えてほしい。
	将来を見据えた病院、介護施設、サービス増加の計画と予算確保。
	介護保険料等をあまり上げなくてもいけるよう、無駄なことは控えて、どこに住んでも最後によかったなと思える行政をお願いしたい。
	介護保険料をもっと安くしてほしい。
	介護保険が高すぎる。
	年金生活者なので、介護保険料をもう少し減額してほしい。
	健康保険は加入者が利用しているが、介護保険は認定を受けた者しか利用できない。利用者と未利用者の保険料は変えるべき。
	介護保険の内容の詳細説明やPR等無しで、保険料のみ強制徴収されることは納得できない。一律定額徴収などは考えられないか。
	高齢であっても介護を必要としない人に、介護保険料や買い物の割引とか何か特典を付けてあげればよい。
	介護認定の申請手続を迅速にやってもらいたい。
	介護のクラス決定の内容を公開してほしい。
	本当に支援を必要とする人、また家族への支援を重視してほしい。
	介護支援を充実してほしい。
	高齢者が気軽に話せて、行きやすい介護政策に取り組んでほしい。
	公助—もっときめ細かな対応を望む。
	役場間ですべてオープンにして、ディスカッションの機会を設け、よりよい制度を確立してほしい。
	これから先は介護が必要な人が明らかに増加するので、施設、人員をもっと増加してほしい。
	すぐ介護に頼る人たちを少なくする。
	介護を嫌がる老人に対してより強力に介護を進める。
デイサービスの充実。	
ヘルパーの増強。	

区分	ご意見・ご提案
各種サービス	ホームヘルパーの充実、質的向上。
	24 時間対応の介護ヘルパーセンターの設置。
	在宅介護でヘルパーキーステーションを設け、巡回できるシステム。
	介護認定を受けていない人でもデイサービスを受けられるところをつくってほしい。
	手続きをもっと簡素化してスピーディにサービスを受けられるようにしてほしい。
	1 日 1 回程度、各公園でラジオ体操をする。
	フィットネスクラブ利用の際の補助をしてほしい。
	三宅町のようなマシンを取り入れたスポーツ施設をつくってほしい。できないのであれば、コナミ参加への補助や「まほろば運動公園」スポーツ施設の利用への補助などを実現してほしい。
	筋トレ施設の誘致。
	高齢者も体を動かせる運動の場をつくり、各マシンの設置をする。見守り、介助、介護人を置くと安全。
	鉄道の乗車券、タクシー券の無料配布。
	介護認定を受けていなくても福祉タクシーの補助金の支給。
	車に乗れなくなった時に家族ばかりに頼れないので、介護タクシーを増やしてほしい。
	窓口で気軽に相談できる環境が必要と思う。
	相談窓口。
	高齢者が気軽に相談できる窓口。
	高齢者に分かりやすいよう介護窓口は一つにしてほしい。
	地域の公民館等に「福祉なんでも相談受付窓口」を設けて、関係先に伝えてもらえるシステムの導入。
	身近なところで福祉や有料老人ホームなどの相談ができるところがほしい。
	健康づくりや介護サービス等々の出張講座を各自治会でしてほしい。
	健康体操的な会合を週 1 回催してほしい。
	健康を維持するため、老人が全身を動かす体操、ヨガ、ダンス等の教室をもっと充実させてはどうか。
	介護予防が 3 月で終わりなのでまたやってほしい。
	介護予防のための日ごろの運動を教えたりしてほしい。
	介護予防事業の充実とその参加の呼びかけをしてほしい。
	介護予防サービスを充実してほしい。
	結崎保健センター、役場主催で講座を 1 ヶ月に 1 回開いてほしい。
	高齢者の運動教室や、認知症予防教室に、気軽に参加できるようにしてほしい。
	学習の場の提供。
	独居老人で近くに親族のいない人を対象に、ボランティアや民生委員による「声かけ人」の制度を設け、孤独死や認知症の外出事故死をなくすようにしてほしい。
一人住まいの方への対策。	

区分	ご意見・ご提案
各種サービス	一人暮らしの方の緊急の連絡先を届け出るようにしてほしい(例：役場)。
	一人になったとき、行政から定期訪問があり、情報の提供や困りごとの相談を受けてほしい。
	一人暮らしの方の自宅に役場から訪問して困りごとの相談に乗るような制度をつくってほしい。
	単身になった時の精神的支援と介護の充実。
	民生委員の訪問回数を増やす。
	サポートが手軽に受けられる。
	元気な高齢者向けに交流の場づくり。
	各地域でサロン等の集まる機会があるが、町全体としてもっと高齢者が集う「イベント」があればと思う。もっと大勢の人たちが気軽に参加できる機会があればと思う。
	高齢者がお互いに交流できる機会の充実。
	要介護に関係なく高齢者がゆっくりと楽しみながら皆さんとお話できる居場所が近くにあればありがたい。
	月1、2回位、定期的に男性が気楽に集える講座があればいいと思う。
	元気にゆっくり会で話をするととてもよい。
	皆と話ができる場がほしい。
	自由に出入りできるサロンをつくってほしい。
	寝たきりになったとき、最後まで在宅可能な支援。
	高齢者は毎日の食事が大事なので、いろいろな食材をアレンジして食べるよう指導してほしい。
	各自の健康状態に合わせた弁当の配達。
	独り暮らしの人に配食サービスの充実をお願いしたい。
	福祉や介護サービスが気軽に利用できるようになってほしい。
	高齢者の見守り活動を、自治会と実施してほしい。
	緊急時、子ども以外のどこかに連絡するところがあって対応してくれるとありがたい。
	独居老人が住居で倒れたとき、すぐに救急支援ができるような体制づくりが必要。
	体調が悪い時だけでもいつでもSOS出せるところがあればと思う。
	転倒などで動けなくなった時、手助けしてくれる人がほしい。
	急に体調が悪くなった時に、駆けつけてきてくれる介護職員の方が必要だと思う。
本当に困っている人のためのサービスを充実させてほしい。	
先の事は分からないしあまり嫌なことは考えたくないが、介護が必要になれば助けてほしい。	
きめ細かいサービスを期待している。	
福祉や介護サービスがもっとよくなってほしい。	
早期発見の認知症の診察を受けられるよう、町で実施する計画はないのか。	

区分	ご意見・ご提案
各種サービス	<p>町が要介護者に介護サービスに使えるチケットを発行する。介護の種類を町に登録し、介護の度合いによって配布数を町が決める。介護者がもらったチケットは町内の買い物に使えるようにする。</p> <p>奈良市や生駒市では、バスの無料券、映画券、入浴券などがもらえるらしく、川西町でも近鉄の割引券などがもらえるようにしてほしい。</p>
公共交通	<p>町営バスが必要。</p> <p>コミュニティバスに乗るときにカートや重たい荷物が上げにくいので補助が必要。</p> <p>コミュニティバスの本数を増やしてほしい。</p> <p>コミュニティバスについて、近隣市町間の相互乗り入れ、または近隣市町周遊が容易になるよう乗換バス停の配置を望む。</p> <p>町のコミュニティバスは利便性が悪いので、運賃、運行時間帯、コースをもっと検討すべき。</p> <p>時間帯によってはコミュニティバスに乗れない時もあるので、利用方法を見直してほしい。</p> <p>コミュニティバスの利便性を向上してほしい。</p> <p>コミュニティバスの運行時間の延長や本数の増加。</p> <p>近隣市町村と川西町コミュニティバスが連絡できるようにしてほしい。</p> <p>車に乗れなくなったらコミュニティバスは必要なので続けてほしい。</p> <p>コミュニティバスは手を上げたら止まってほしい。バス停まで行くことができない方のことも考えてほしい。</p> <p>駅から遠い地域ではコミュニティバスが使いやすいようにしてほしい。</p> <p>コミュニティバスの運行時間が少なくて不便。増便と、どこからでも乗下車できるようにしてほしい。国保病院までのバスを運行してほしい。</p> <p>土日コミュニティバスがあればよい。国保病院に直接行けるバスを考えてほしい。</p> <p>コミュニティバスの運行回数を増やしてほしい。</p> <p>コミュニティバスの停留所をたくさんつくってほしい。</p> <p>垣内内幹線道路にコミュニティバスを走らせる。</p> <p>コミュニティバスを大和小泉駅に配車してほしい。</p> <p>近隣市町村が共同で駅間のコミュニティバスを運行してはどうか。</p> <p>コミュニティバスを無料にしてほしい。</p> <p>コミュニティバスに末長く走ってほしい。</p> <p>高齢者が毎日でも外出できるよう、コミュニティバスを充実させてほしい。他市町村と共同運行とし、土・日や平日の回数を増やす。</p> <p>こすもす号の本数を増やす。</p> <p>土日にこすもす号を運転してほしい。</p> <p>こすもす号の停留所と便数を増やしてほしい。</p> <p>こすもす号の停留所を増やしてほしい。</p> <p>こすもす号の増便。</p> <p>こすもす号はもっと辻々に止まってほしい。</p> <p>こすもす号の便数を増やしてほしい。</p>



区分	ご意見・ご提案
公共交通	こすもす号の停留所を増やしてほしい。
	バス（川西こすもす号）のおかげで病院や買い物に行きやすくなった。
	他市町村へ行けるバスがあればいい。
	天理のいこい病院への移動バス。
	交通の利便性。
	公共交通機関の充実と割引。
	川西町は車がないと生活しにくい。
	交通の利便性を向上してほしい。
	将来体が不自由になった時、病院通いできるような交通手段を考えてほしい。
	町内を循環しているバスについて。70歳以上は無料にしてはどうか。
	バスの運賃はもう少し安くないか。
	交通の便が悪く移動が困難で、年齢と共にとても不安を感じる。JR法隆寺駅へのバスを充実してほしい。
	JR（法隆寺駅）へのアクセスを考えてほしい。
	過疎化が進んでも交通の手段がなくならないようにしてほしい。
	公共交通機関がよくなってほしい。
	天理よろづ病院、高井病院等にバスを運行してほしい。
	天理の高井病院、いこい病院への交通手段がよくない。
	駅より遠い地域の方のためにもっと交通手段があればいい。
	交通の便が良くなることを願っている。
	買い物や医療機関へ行くために自家用車を使わなくて済むような交通機関。
	バス停が遠い。
車の運転ができなくなった時、どうしたらよいか不安である。	
医療、買い物、駅などへの交通アクセスの充実。	
川西町から国保中央病院へ、田原本バスセンター経由でなく直接行ける交通手段がほしい。	
施設	グループホームの増設。
	高齢者のケアハウスの充実。
	健常高齢者も楽しめるような施設を整備してほしい。
	高齢者が話をしたりくつろげる場所、施設があればいい。
	老人ホームを川西町に建ててほしい。
	養護老人ホームの充実。
	川西町専用の特養施設の設置。
	町内に町の住人対象の老人ホームを開設してほしい。
	安心して入所～看取りまで可能な施設の充実。
	町運営の入所施設があるといい。
	介護施設の充実。
	介護施設を町内に誘致する。
	介護老人保健施設の事故が発生しないよう、地域全体の介護施設等に注意をしてほしい。また、介護スタッフはもっと勉強し、安全な介護をしてほしい。

区分	ご意見・ご提案
施設	高齢者の精神的不安解消のためには、要介護者が入れる施設が全体に必要だ。
	4町のそれぞれに介護施設をつくり、国保中央病院の医師が診察、往診するシステムをつくってほしい。
	夜間に世話をしてもらえる施設がほしい。
	安心して入所できるサービス付き高齢者向け住宅を、町に誘致してほしい。
	医療、介護、食事、洗濯つきの高齢者マンション。
	介護認定を受けていない状態で、身体や生活に不安がある期間に入所できる施設がほしい。
	老人ホームへ入る前の独り暮らしの女性が、共同生活できる場所があればいいと思う。
	空き家を活用したグループホーム。
	お風呂や運動できる所のある老人施設を、川西町でもつくってほしい。
	無料あるいは低料金で入れる入浴施設がほしい。
	交通便利な駅付近に、高齢者が利用しやすい施設をつくってほしい。
情報提供	引きこもりの老人が増えているので、デイサービス等の情報提供が必要。
	これからお世話になりたいが、民生委員さんの動いていただく範囲が分からない。
	健康寿命の延伸や高齢者が暮らしやすいまちづくりにつなげるためには、サークル活動が重要なので、これらの情報を収集し、紹介してほしい。
	各県自治体の取り組みはニュース新聞等で目に入るが、奈良県の町の取り組みの姿が見えない。
	広報等での適度な情報提供。
	福祉や介護サービスの情報提供の充実と相談窓口。
	一人暮らしの高齢者に対する支援内容とかかる費用を知りたい。
	情報が不足。
	高齢者の認知症は大きな問題なので、症状の進み方、症状に応じた医療機関、専門医、介護者の留意すべき点、介護保険施設の受入状況など、認知症に関する情報がほしい。
	役場、地域包括支援センターに、有料老人ホームの資料を備え、相談できるようにしてほしい。
	長寿介護課の業務内容などを、広報などで取り上げてほしい。
高齢者政策が分かりにくい。	
町の介護情報をもっと開示してほしい。	
生活支援	移動買物車。
	移動販売の車がきてほしい。
	移動販売車があればいいと思う。
	買い物も、移動販売車に来てもらいたい。唐院や保田はお店がないため困っている。
	食料品の配達。
	自力で生活できる環境づくり。
	徒歩や公共交通機関ですぐに買い物に行ける場所がほしい。

区分	ご意見・ご提案
生活支援	週1回くらい、家の掃除等の援助を受けたい。
	買い物や移動がスムーズに行えるしくみが必要。
	唐院に住んでいるが、スーパーが遠くて買い物に行けず困っている。
	唐院地区ではゴミ出しにみんな困っていると思う。
	緊急時に簡単に連絡が取れる体制と食事等が手配できればありがたい。
	弁当等を安価で配達してほしい。
	日常生活の買い物に不自由しないまちにしてほしい。
	買い物がしやすくなることを願っている。
相互扶助	高齢、認知症による近隣への迷惑は当然のことと認識し、互いに見守り助け合うことができたらいいと思う。
	自治会活動の内容の検討や近所がつながりを持てるような活動。
	町内で見守りネットワークがあればよい、。
	高齢者、一人暮らしの者への見守りをする人が必要。
	顔見知りやそうでない方にも、気軽に話しかけができるような啓発をしてほしい。
	高齢者を地域住民が互いに気を付け合うまちになればいい。
	地域、近隣の助け合い。
	地域の住人が声かけをし合う。
	地域の人たちの協力（共助）。
	周りの人とのつながりが大切で、地域での協力が必要だと思う。
	一人暮らしの家に毎日声をかけ、困っていることがないかなど、地域で取り組んでいけたらいいと思う。
	向こう三軒両隣の啓蒙を町として推進すべき。
	隣近所10件程度でお互いに助け合う組織をつくり、毎日巡回をしあう会を作る。介護が必要になれば役所が処置をする。
	共助一希薄になっていた隣近所の助け合いの充実。
	健康な人は手伝ってあげられる内容を、健康でない人は手伝ってほしい内容をそれぞれ出し合って有機的に結べる組織ができればよい。
	友人関係、人間関係の輪。
	独り暮らしが多くなっているため、老人同士の集いの場、見守り活動の充実、人と人との助け合いが必要だと思う。
	小さい時から家庭や学校で思いやりや優しさを教えていけば、高齢者が暮らしやすくなる一番の基本だと思う。
バリアフリー	車椅子で不安なく移動できる道路・体制・施設の整備。
	道路整備。
	段差のない歩道。
	歩道に高低があり歩きにくいので、歩きやすい歩道に改修してほしい。
	歩きやすい、段差のない道路にしてほしい。
	車椅子でも生活しやすいまちづくり。
	歩道の段差をなくしてほしい。
	車椅子や手押し車が安心して使える歩道整備。
	道路をもっと歩きやすい道にする。車いすでも行ける道がほしい。

区分	ご意見・ご提案
バリアフリー	垣内の幹線道路の凸凹をなくす。
	高齢者が安心、安全に歩ける歩道づくりをしてほしい。
	広く段差のない歩道にして、歩きやすい道づくりをしてほしい。
	歩道が歩きにくいので、整備してほしい。
	高齢者が安全に歩行できる道路を整備してほしい。
	すべての町民が快く生活する基本として、歩道の整備が重要だと感じる。
	車道と歩道の分離。歩道の設置。
	町内全域での歩道の整備。
	コミュニティバスの低床化。
その他	アンケート結果を生かしてほしい。
	アンケートの集計結果を公開してほしい。
	このアンケート調査結果を公開してほしい。
	アンケート結果や活用方法を広報などで発表してほしい。
	アンケートはよく実施されその都度提出するが反応がない。協力の意がそがれる。
	同じ人ばかりアンケート調査票が送られてくるが、別の人たちにも依頼してはどうか。
	このアンケートは答えにくい設問や、回答に迷う設問もあるので、これだけでは正確な実態把握はしにくいと思う。
	時々このようなアンケートがあるが、高齢のため字が読みにくく、回答しにくい。
	アンケートや色々なことを送り付けるばかりでなく、1年に1度でも役場の方が戸別訪問したらどうか。
	アンケートの結果は発表してほしい。
	このアンケートを生かしたまちづくりをしてほしい。
	アンケートなどせずに、役場の人が自分の考えで良いと思うことをしてくれれば良いと思う。
	要介護を受けていない状態でどんな介護が必要かは解答しにくい。具体的な病状を明確にして何が必要かの解答を求めた方が的確なアンケートになるのではないか。
	年寄りはこの集まりがよい・・・と決めつけるのではなく、アンケートをとるなどして、スポーツ、読書、お笑い等々、興味のあるものに参加できるようにしてほしい。
	より具体的な調査と調査結果のフィードバック。
	この調査からも町の働きがよく見えるよう、住民に示してほしい。
	人口を増やし、若いも若きもいきいきと暮らし、楽しく元気に活性化する町になってほしい。若者が主体的に活動し、子どもたちも住み続けたいと思う町で暮らし続けたい。
	高齢者が暮らしやすい町イコール誰もが暮らしやすいまちづくりに通じると思う。支援の充実も重要だが、まず町がいきいきと活性化するまちづくりを望む。
	高齢者が今困っていることを把握し政策を進める。

区分	ご意見・ご提案
その他	悩み困っている高齢者の意見を聞き、町にできる範囲でやってはどうか。
	町民の意見が述べられる場を設ける。
	もっと税収が増えるよう、会社、用地を作ったり、人口が増えるよう、先に考えた方がよいと思う。
	困ったら役場に行って相談したいと思うような役場になってほしい。
	人に会っても挨拶もしない町の体質を改めさせて、人間らしく生活できるまちにしてほしい。
	若い人たちが定住する魅力ある町にする。
	高齢者よりも若者への施策を！
	高齢者より若い人の支援の方を充実させてほしい。
	若者が住みやすいまちづくりに努める。
	若者も高齢者も暮らしやすいまちづくりを切に望む。
	高齢者が暮らしやすいまちにすることも大切だが、できれば若者が増えるまちになってほしい。
	高齢者よりも子どもの育成のためにお金を使ってほしい。
	将来のある子どもには積極的に支援すべき。
	町の財政には限りがあるので、福祉・介護への支出はほどほどにすべき。
	必要な財源を確保するために、特別職、議員の給与、議員定数の削減、各種補助金の見直し、削減が必要。
	公共施設を極力減らし、町の財政を改善してほしい。
	市町村職員の仕事内容を見直し、町民に来させるのではなく、出向くようにする。
	高齢者対策の執行体制の強化、充実。
	入札制度をしっかりと。
	独り暮らし高齢者の今後の生活について、共に考えてあげられるような施策が必要ではないかと思う。
	町内で日常生活が完結できるように、町の発展、開発が必要。
	マンション建設などで人口を増やしてほしい。子どもの住みやすいまちは高齢者にも住みやすいまちになると思うので、両者共存できるまちを目指してほしい。
	子どもと触れ合える機会を作る。
高齢者のみの世帯とならないよう、2世代以上の家族構成を推進する施策を行ってほしい。	
元気な高齢者の働ける場、機会を、町として提供、斡旋し、報酬を得て、社会のために役立っているという自信を持たせることが重要だと思う。	
高齢者の意見が通りにくいので、もっと弱者の意見を取り入れ、暮らしやすいまちづくりを実践してほしい。	
福祉計画等に関わっている担当者の方々は、全国の市町村の実態をよく勉強していただき、取り入れるべきところは積極的に取り入れ、生かしてほしい。	

区分	ご意見・ご提案
その他	<p>必要な援助を自身で判断できない独り暮らし高齢者にとって、民生委員の役割は大きい。自身で判断できない高齢者当人の言い分やプライバシーを尊重し過ぎて、間違った対応をしないために、民生委員は当人が正常な判断ができるうちに当人の個性をよく把握しておく必要があると思う。</p> <p>この町に住みたいと思うような魅力的な取り組みに期待する。</p> <p>高齢者が日常的に集まれる場所の提供と、関わる人たちを支援育成する。</p> <p>健康な高齢者が活躍できるしくみ。</p> <p>老人が安心して生活できるまちづくり。</p> <p>高齢者への理解を深めるため、教育現場でも教えてほしい。</p> <p>子ども、子どもの親に対して、年を取るといふことはどういうことかを考える方法はないか。</p> <p>ランチとお茶ができる場所をつくってほしい。</p> <p>お昼だけでも気楽に入れる食堂がほしい。しゃべって過ごせて、作った物を展示できる場所があるのも楽しいと思う。</p> <p>体を動かす場の提供。</p> <p>つどいの開催。</p> <p>自助、共助、公助のバランスを学ぶ機会があればいい。</p> <p>町会、自治会、集会などの話し合いの場所をつくってほしい。</p> <p>気軽に立ち寄れる「たまり場」の設置。</p> <p>体操場がほしい。</p> <p>暇潰しができる場所。</p> <p>町のあちこちに一休みできるベンチがほしい。</p> <p>町内の名所・旧跡・公園などにトイレがあると安心して出かけられる。</p> <p>スーパーの椅子が撤去されたが、高齢者は買い物の際に休憩したいので、また設置してほしい。</p> <p>公園等に筋力強化用の器具を設置してほしい。</p> <p>室内等で、いつでもウォーキングできる所を設けてほしい。</p> <p>安心してウォーキングができる場所。</p> <p>夜は街灯をつけてほしい。</p> <p>夜、町内の灯りが暗い。</p> <p>西人権文化センターの風呂を再開してほしい。その場の皆様と話ができるようにしたい。</p> <p>ごみ集積所が遠いので、有料でも自宅前に置きたい。</p> <p>ごみの集積所が遠い。</p> <p>家の前で一軒ごとのゴミ収集はできないか。</p> <p>収集車が各家庭の前を通り、回収できるようにしてほしい。</p> <p>スーパーが近くにあると助かる。</p> <p>食が大切だと思うので、スーパーが出店してくれるとよい。</p> <p>スーパーの食品の鮮度を高めてほしい。</p> <p>結崎まで行かないと買い物ができない。近くにコンビニと食料品店があったらと思う。</p> <p>コンビニが家の近くにほしい。</p>

区分	ご意見・ご提案
その他	コンビニを増やしてほしい。
	郵便ポストが家の近くにほしい。
	保険料、税金を安くする。
	固定資産税や各種税金が高くて大変なので、安くなればうれしい。
	年金が減ると生活が苦しくなるので下げないでほしい。
	健康保険等が高くなっているので困っている。
	年金の少ない者は税金、介護保険料、病院代などが免除になるよう、法律も変えてほしい。
	ボランティア精神のある行動を考えるべき。短期ではなく長期続けられるような行動。
	ボランティアの人達に声かけをしてほしい。
	老若男女が一緒に活動できる機会を、もっと増やしてほしい。
	寺川の橋を架け替える際には、幅を拡げてほしい。
	体育館から役場までの歩道が変形しておりとても歩きにくく危険。平らな歩道にしてほしい。また、体育館前の道は車の往来が多く、歩道が片側しかないのがとても怖い。
	道路幅の拡張（少なくとも消防車等入れるように）。
	道路の整備と拡幅の必要な個所が多いので点検してほしい。
	民生委員と福祉課および支援センター等関係者のデータの一元化をし、すばやく対処、処理ができるようにしてほしい。
	歩道とは別に自転車道を整備する。
	自転車を通る歩道を整備してほしい。
	歩道、自転車道の整備。
	近鉄の踏切をなくしてほしい。
	結崎駅を立体化し、誰もが使いやすい駅になるようにしてほしい。
	駅前の再開発を早期に実施し、ロータリーを町民の活動場所として利用できるまちづくりを進めてほしい。
	町の中心だけではなく村の端の便利を考えてほしい。
	空き家対策。
	路上駐車減少策をしてほしい。
	路上駐車にも高齢者は危険を感じる。
	団地内や旧村内の、車のスピード規制をしてほしい。
	雨が降ると水たまりが多い。
	高齢者を狙う悪質な詐欺等の対策。
膝、肩の痛みの施術は近隣の整骨院で保険適用で受診できるようにしてほしい。	
個人のプライバシーが強すぎ、もう少し臨機応変にしてもよいと思う場合がある。	
役場へ提出する書類等の記入方法が少し理解できないが、いい方法はないか。	
国民年金がだんだん少なくなって生活が苦しい。	
年金生活者には余裕のあるお金が必要。	

区分	ご意見・ご提案
その他	みんながみんなの意見を聞き親切にすること。
	高齢者世帯は団地では生活しにくい。
	共同清掃など、自治体関係の義務が果たせないことが多い。隣近所が留守がちなので、回覧も困る。これらを廃止してほしい。
	生活保護受給者は何かにつけて楽をしているが、籍を抜いているだけの人もいるので、きちんと調べてほしい。
	農道に落ちた田起こしの土で足をひねったことがあるので、畑の人に土を片付けてほしい。
	今後、家族がどんな方向に進んでいくのか、予測は不可能だ。
	健康寿命を延ばすため、健康講座を受講するなど、努力している。
	なるべく要介護にならないように毎日気を付けて生活しているつもりだが、お世話になるときが来たら宜しくお願ひしたい。
	今は二人で暮らしているので協力しあえるが、一人になった時どの程度自分でできるか分からないので不安がある。
	足が弱った自分がシルバーカートを押す体になった時、生きがいが必要だと思う。
	道路の段差や家内の段差が大変だが、極力動くようにしている。
	できるだけ人に迷惑を掛けないように穏やかに日々過ごす努力をしている。環境の違う人生を生きて、性格も色々。常識をわきまえることが大切。
	自分のことは自分で考え、行動し好きなことをすることが重要。
	自分の意思で行動できる場の提供。
	家では自分のできることはして、毎日楽しく過ごす。
	高齢者が何ができるかを話し合う機会を持つ。
	自分なりのスタンスで地域貢献をしていきたい。
	全ての高齢者が平平凡凡と暮らす。
	知的興味を持ち続けていく姿勢がよい。
	高齢者になる前から社会参加、ボランティア活動に協力していれば、身につくことも多く、友達も多く、心に余裕ができ、ストレスも小さく暮らせると思う。
	介護を必要としない取り組みが必要だと思う。
	60歳代位から老人を教育する必要がある。
	一人になったら行政に頼らなければならないが、敷居が高く簡単に利用できない。もっと気楽に話ができたらいいと思う。
	記憶力が年々減少していると感じる。自覚が大切。
	いつもお世話になっており、介護の仕事が大変なのはよく分かるので感謝している。ボランティアの方たちも在宅介護の届かない掃除や洗濯をしていただいて感謝している。
	町の努力に感謝。
	役場や包括支援センターの方々も大変だと思うが町のみなさまによい方向で進めてほしい。
	婦人会の方から弁当を頂き、感謝している。
感謝と自立・自律精神の無いところに満足は生まれない。	



区分	ご意見・ご提案
その他	現状で満足。
	すぐに来てもらえるのはありがたい。
	川西町内で認知症になっている人の数が知りたい。
	図書館の本の返却を3週間にしてほしい。
	近隣間の助け合いが不可欠だが、高齢者世帯が多く、町の施策に頼らざるを得なくなると思う。
	食事、掃除が大変だ。また、一人で食事をするのが寂しい。
	高齢者自身を活動させることは困難だと思う。
	尊厳死を条例で認める。
	自分は子どもの世話になる。

## 集計表

### (1) 性別

No.	カテゴリ一名	n	%
1	男性	757	46.1
2	女性	860	52.3
	無回答	26	1.6
	全体	1643	100.0

### (2) 年齢

No.	カテゴリ一名	n	%
1	65～69 歳	521	31.7
2	70～74 歳	438	26.7
3	75～79 歳	334	20.3
4	80～84 歳	219	13.3
5	85～89 歳	84	5.1
6	90 歳以上	33	2.0
	無回答	14	0.9
	全体	1643	100.0

## (3) 居住自治会名

No.	カテゴリー名	n	%
1	中村	83	5.1
2	市場	42	2.6
3	辻	66	4.0
4	井戸	70	4.3
5	出屋敷	138	8.4
6	美ノ城	30	1.8
7	結崎団地	441	26.8
8	ハッピータウン	12	0.7
9	結崎南団地	77	4.7
10	美幸	28	1.7
11	東城	66	4.0
12	スカイタウン	4	0.2
13	西城	28	1.7
14	東方	47	2.9
15	上吐田	31	1.9
16	北吐田	31	1.9
17	南吐田	54	3.3
18	梅戸	65	4.0
19	唐院	191	11.6
20	保田	84	5.1
21	その他	14	0.9
22	わからない	11	0.7
	無回答	30	1.8
	全体	1643	100.0

## 問1 (1) 家族構成

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人暮らし	184	11.2
2	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	794	48.3
3	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74	4.5
4	息子・娘との2世帯	301	18.3
5	その他	254	15.5
	無回答	36	2.2
	全体	1643	100.0

## 問1 (2) 日常生活での介護・介助の必要性

No.	カテゴリー名	n	%
1	介護・介助は必要ない	1437	87.5
2	介護・介助は必要だが現在は受けていない	112	6.8
3	現在何らかの介護を受けている	37	2.3
	無回答	57	3.5
	全体	1643	100.0

問1 (3) 主な介護者・介助者と本人との関係

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者	17	45.9
2	息子	9	24.3
3	娘	9	24.3
4	子の配偶者	4	10.8
5	孫	3	8.1
6	兄弟・姉妹	2	5.4
7	介護サービスのヘルパー	2	5.4
8	その他	3	8.1
	無回答	0	0.0
	非該当	1606	
	全体	37	100.0

問1 (4) 経済的にみた現在の暮らしの状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	大変苦しい	98	6.0
2	やや苦しい	296	18.0
3	ふつう	1052	64.0
4	ややゆとりがある	119	7.2
5	大変ゆとりがある	27	1.6
	無回答	51	3.1
	全体	1643	100.0

問2 (1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	920	56.0
2	できるけどしていない	403	24.5
3	できない	273	16.6
	無回答	47	2.9
	全体	1643	100.0

問2 (2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1182	71.9
2	できるけどしていない	241	14.7
3	できない	178	10.8
	無回答	42	2.6
	全体	1643	100.0

問 2 (3) 15 分位続けて歩く

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1175	71.5
2	できるけどしていない	307	18.7
3	できない	114	6.9
	無回答	47	2.9
	全体	1643	100.0

問 2 (4) 過去 1 年間の転倒経験

No.	カテゴリー名	n	%
1	何度もある	135	8.2
2	1 度ある	379	23.1
3	ない	1105	67.3
	無回答	24	1.5
	全体	1643	100.0

問 2 (5) 転倒に対する不安

No.	カテゴリー名	n	%
1	とても不安である	246	15.0
2	やや不安である	588	35.8
3	あまり不安ではない	453	27.6
4	不安ではない	322	19.6
	無回答	34	2.1
	全体	1643	100.0

問 2 (6) 週に 1 回以上の外出

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど外出しない	98	6.0
2	週 1 回	226	13.8
3	週 2～4 回	722	43.9
4	週 5 回以上	569	34.6
	無回答	28	1.7
	全体	1643	100.0

問 2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	とても減っている	66	4.0
2	減っている	313	19.1
3	あまり減っていない	706	43.0
4	減っていない	533	32.4
	無回答	25	1.5
	全体	1643	100.0

問2 (8) 外出する際の移動手段

No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩	954	58.1
2	自転車	684	41.6
3	バイク	122	7.4
4	自動車(自分で運転)	874	53.2
5	自動車(人に乗せてもらう)	541	32.9
6	電車	808	49.2
7	バス(「川西コスモス号」含む)	130	7.9
8	病院や施設のバス	22	1.3
9	車いす	1	0.1
10	電動車いす(カート)	0	0.0
11	歩行器・シルバーカー	15	0.9
12	タクシー	89	5.4
13	その他	5	0.3
	無回答	15	0.9
	全体	1643	100.0

問3 (1)-1 身長

No.	カテゴリー名	n	%
1	140cm 未満	9	0.5
2	140～145cm 未満	26	1.6
3	145～150cm 未満	184	11.2
4	150～155cm 未満	324	19.7
5	155～160cm 未満	298	18.1
6	160～165cm 未満	281	17.1
7	165～170cm 未満	261	15.9
8	170～175cm 未満	151	9.2
9	175～180cm 未満	42	2.6
10	180cm 以上	10	0.6
	無回答	57	3.5
	全体	1643	100.0

## (20) 問3 (1)-2 体重... (SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	40kg 未満	39	2.4
2	40~45kg 未満	112	6.8
3	45~50kg 未満	224	13.6
4	50~55kg 未満	313	19.1
5	55~60kg 未満	256	15.6
6	60~65kg 未満	295	18.0
7	65~70kg 未満	153	9.3
8	70~75kg 未満	112	6.8
9	75~80kg 未満	48	2.9
10	80~85kg 未満	19	1.2
11	85~90kg 未満	10	0.6
12	90kg 以上	6	0.4
	無回答	56	3.4
	全体	1643	100.0

## 問3 (2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった

No.	カテゴリ一名	n	%
1	はい	578	35.2
2	いいえ	1032	62.8
	無回答	33	2.0
	全体	1643	100.0

## 問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況

No.	カテゴリ一名	n	%
1	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	324	19.7
2	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	449	27.3
3	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	650	39.6
4	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	136	8.3
	無回答	84	5.1
	全体	1643	100.0

## 問3 (4) 誰かと食事をともにする機会

No.	カテゴリ一名	n	%
1	毎日ある	1025	62.4
2	週に何度かある	115	7.0
3	月に何度かある	203	12.4
4	年に何度かある	198	12.1
5	ほとんどない	67	4.1
	無回答	35	2.1
	全体	1643	100.0

問 4 (1) 物忘れが多いと感じる

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	759	46.2
2	いいえ	845	51.4
	無回答	39	2.4
	全体	1643	100.0

問 4 (2) バスや電車を使って1人で外出している

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1343	81.7
2	できるけどしていない	205	12.5
3	できない	74	4.5
	無回答	21	1.3
	全体	1643	100.0

問 4 (3) 自分で食品・日用品の買物をしている

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1334	81.2
2	できるけどしていない	247	15.0
3	できない	43	2.6
	無回答	19	1.2
	全体	1643	100.0

問 4 (4) 自分で食事の用意をしている

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1064	64.8
2	できるけどしていない	422	25.7
3	できない	133	8.1
	無回答	24	1.5
	全体	1643	100.0

問 4 (5) 自分で請求書の支払いをしている

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1339	81.5
2	できるけどしていない	241	14.7
3	できない	38	2.3
	無回答	25	1.5
	全体	1643	100.0



問 4 (6) 自分で預貯金の出し入れをしている

No.	カテゴリー名	n	%
1	できるし、している	1322	80.5
2	できるけどしていない	251	15.3
3	できない	54	3.3
	無回答	16	1.0
	全体	1643	100.0

問 5 (1) ① ボランティアのグループ

No.	カテゴリー名	n	%
1	週 4 回以上	20	1.2
2	週 2～3 回	27	1.6
3	週 1 回	72	4.4
4	月 1～3 回	112	6.8
5	年に数回	81	4.9
6	参加していない	870	53.0
	無回答	461	28.1
	全体	1643	100.0

問 5 (1) ② スポーツ関係のグループやクラブ

No.	カテゴリー名	n	%
1	週 4 回以上	56	3.4
2	週 2～3 回	106	6.5
3	週 1 回	109	6.6
4	月 1～3 回	60	3.7
5	年に数回	48	2.9
6	参加していない	838	51.0
	無回答	426	25.9
	全体	1643	100.0

問 5 (1) ③ 趣味関係のグループ

No.	カテゴリー名	n	%
1	週 4 回以上	30	1.8
2	週 2～3 回	100	6.1
3	週 1 回	91	5.5
4	月 1～3 回	292	17.8
5	年に数回	83	5.1
6	参加していない	682	41.5
	無回答	365	22.2
	全体	1643	100.0

問5 (1) ④ 学習・教養サークル

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	3	0.2
2	週2～3回	10	0.6
3	週1回	43	2.6
4	月1～3回	73	4.4
5	年に数回	74	4.5
6	参加していない	924	56.2
	無回答	516	31.4
	全体	1643	100.0

問5 (1) ⑤ 老人クラブ

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	9	0.5
2	週2～3回	15	0.9
3	週1回	20	1.2
4	月1～3回	118	7.2
5	年に数回	278	16.9
6	参加していない	767	46.7
	無回答	436	26.5
	全体	1643	100.0

問5 (1) ⑥ 町内会・自治会

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	14	0.9
2	週2～3回	10	0.6
3	週1回	24	1.5
4	月1～3回	111	6.8
5	年に数回	541	32.9
6	参加していない	546	33.2
	無回答	397	24.2
	全体	1643	100.0

問5 (1) ⑦ 収入のある仕事

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	125	7.6
2	週2～3回	84	5.1
3	週1回	15	0.9
4	月1～3回	38	2.3
5	年に数回	23	1.4
6	参加していない	910	55.4
	無回答	448	27.3
	全体	1643	100.0

問 5 (2) 地域活動に参加者として参加したいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	是非参加したい	158	9.6
2	参加してもよい	889	54.1
3	参加したくない	515	31.3
	無回答	81	4.9
	全体	1643	100.0

問 5 (3) 地域活動に企画・運営として参加したいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	是非参加したい	47	2.9
2	参加してもよい	560	34.1
3	参加したくない	940	57.2
	無回答	96	5.8
	全体	1643	100.0

問 6 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者	1070	65.1
2	同居の子ども	333	20.3
3	別居の子ども	654	39.8
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	517	31.5
5	近隣	285	17.3
6	友人	735	44.7
7	その他	41	2.5
8	そのような人はいない	48	2.9
	無回答	35	2.1
	全体	1643	100.0

問 6 (2) あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者	1026	62.4
2	同居の子ども	282	17.2
3	別居の子ども	624	38.0
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	574	34.9
5	近隣	356	21.7
6	友人	735	44.7
7	その他	38	2.3
8	そのような人はいない	82	5.0
	無回答	54	3.3
	全体	1643	100.0

問 6 (3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者	1143	69.6
2	同居の子ども	399	24.3
3	別居の子ども	527	32.1
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	200	12.2
5	近隣	37	2.3
6	友人	57	3.5
7	その他	20	1.2
8	そのような人はいない	66	4.0
	無回答	54	3.3
	全体	1643	100.0

問 6 (4) あなたが看病や世話をしあける人

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者	1188	72.3
2	同居の子ども	347	21.1
3	別居の子ども	459	27.9
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	376	22.9
5	近隣	66	4.0
6	友人	100	6.1
7	その他	17	1.0
8	そのような人はいない	101	6.1
	無回答	95	5.8
	全体	1643	100.0

問 7 (1) 現在の健康状態

No.	カテゴリー名	n	%
1	とてもよい	184	11.2
2	まあよい	1130	68.8
3	あまりよくない	238	14.5
4	よくない	50	3.0
	無回答	41	2.5
	全体	1643	100.0

問 7 (2) 現在の幸せの程度

No.	カテゴリー名	n	%
1	0点	10	0.6
2	1点	3	0.2
3	2点	8	0.5
4	3点	50	3.0
5	4点	42	2.6
6	5点	282	17.2
7	6点	122	7.4
8	7点	283	17.2
9	8点	431	26.2
10	9点	149	9.1
11	10点	194	11.8
	無回答	69	4.2
	全体	1643	100.0

問 7 (3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	583	35.5
2	いいえ	1004	61.1
	無回答	56	3.4
	全体	1643	100.0

問 7 (4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	376	22.9
2	いいえ	1202	73.2
	無回答	65	4.0
	全体	1643	100.0

問 7 (5) タバコを吸っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日吸っている	136	8.3
2	時々吸っている	21	1.3
3	吸っていたがやめた	505	30.7
4	もともと吸っていない	925	56.3
	無回答	56	3.4
	全体	1643	100.0

問7 (6) 現在治療中または後遺症のある病気

No.	カテゴリー名	n	%
1	ない	310	18.9
2	高血圧	634	38.6
3	脳卒中	40	2.4
4	心臓病	147	8.9
5	糖尿病	214	13.0
6	高脂血症	213	13.0
7	呼吸器の病気	82	5.0
8	胃腸・肝臓・胆のうの病気	102	6.2
9	腎臓・前立腺の病気	119	7.2
10	筋骨格の病気	195	11.9
11	外傷	60	3.7
12	がん	80	4.9
13	血液・免疫の病気	18	1.1
14	うつ病	20	1.2
15	認知症	10	0.6
16	パーキンソン病	6	0.4
17	目の病気	294	17.9
18	耳の病気	111	6.8
19	その他	130	7.9
	無回答	88	5.4
	全体	1643	100.0

問8 (1) 健康維持のために心がけていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	定期的に主治医の診察を受けている	1106	67.3
2	健康に関する教室などに参加している	77	4.7
3	町が実施する介護予防教室等に参加している	42	2.6
4	専門職等の健康相談を受けている	98	6.0
5	ウォーキングなどの運動・体操をしている	782	47.6
6	生きがいや趣味をもっている	609	37.1
7	友達と楽しく話す	672	40.9
8	地域の行事に参加している	303	18.4
9	食事の栄養バランスに気をつけている	883	53.7
10	休息や睡眠をとるようにしている	844	51.4
11	ストレスをためないようにしている	632	38.5
12	食事のあとで歯をきれいにしている	716	43.6
13	入浴をこころがけている	969	59.0
14	規則正しい生活を心がけている	902	54.9
15	健康情報を新聞やテレビ等で取り入れている	700	42.6
16	その他	52	3.2
17	特にない	29	1.8
	無回答	43	2.6
	全体	1643	100.0

問 8 (2) 週 1 回以上の運動

No.	カテゴリー名	n	%
1	行っている	787	47.9
2	行っていない	696	42.4
	無回答	160	9.7
	全体	1643	100.0

問 8 (3) A 1 週間の運動回数

No.	カテゴリー名	n	%
1	1 回	124	15.8
2	2 回以上	581	73.8
	無回答	82	10.4
	非該当	856	
	全体	787	100.0

問 8 (3) B 1 回の運動時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	30 分未満	159	20.2
2	30 分以上	569	72.3
	無回答	59	7.5
	非該当	856	
	全体	787	100.0

問 8 (3) C 継続期間

No.	カテゴリー名	n	%
1	1 年未満	82	10.4
2	1 年以上	626	79.5
	無回答	79	10.0
	非該当	856	
	全体	787	100.0

問 8 (4) 町の介護予防教室や講座への参加経験

No.	カテゴリー名	n	%
1	ない	1414	86.1
2	ある	133	8.1
	無回答	96	5.8
	全体	1643	100.0

問 8 (5) 参加してこなかった理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	健康なので介護予防の必要はないと思った	405	28.6
2	自分で介護予防を実践し気をつけている	163	11.5
3	身体に自信がなくなってから参加する	435	30.8
4	ほかに自分のやりたいことがあった	218	15.4
5	内容にあまり興味を持てなかった	152	10.7
6	期間や回数に不安があった	30	2.1
7	参加することが面倒に思えた	281	19.9
8	開催場所に通うことに支障があった	65	4.6
9	開催日時の都合が合わなかった	166	11.7
10	参加するための手続きがよくわからなかった	90	6.4
11	知り合いが参加しないと不安	31	2.2
12	知らなかった	187	13.2
13	その他	76	5.4
14	特に理由はない	360	25.5
	無回答	31	2.2
	非該当	229	
	全体	1414	100.0

問 8 (6) 今後重点を置くべき認知症対策

No.	カテゴリー名	n	%
1	早期発見し専門医療につなげる仕組みづくり	995	60.6
2	認知症の相談窓口の設置	571	34.8
3	認知症予防の教室・講座の開催	413	25.1
4	家族会等の開催	75	4.6
5	見守りボランティア等による生活支援	202	12.3
6	介護サービス専門職の質の向上	194	11.8
7	認知症グループホーム、ショートステイなどの整備	369	22.5
8	認知症の人の権利や財産を守る制度の充実	93	5.7
9	虐待を防止する制度や取り組みの充実	64	3.9
10	地域で徘徊の発見、見守り体制の充実	287	17.5
11	64歳以下で発症する若年性認知症への支援	69	4.2
12	その他	27	1.6
	無回答	219	13.3
	全体	1643	100.0



問 9 (1) 自身が要介護となったとき日常的に受けたい支援

No.	カテゴリー名	n	%
1	日常の声かけ・見守り	584	35.5
2	洗濯、家の中の掃除など	728	44.3
3	ゴミ出し、庭掃除など	624	38.0
4	食事（調理）の支援	813	49.5
5	買い物支援	741	45.1
6	話し相手	358	21.8
7	移動の支援	739	45.0
8	外出の付き添いや介助	397	24.2
9	病院や公共施設での案内	563	34.3
10	役場に提出する書類作成の手助け	444	27.0
11	配食や会食のサービス提供	489	29.8
12	レクリエーション活動参加の支援	119	7.2
13	その他	54	3.3
14	受けたくない	39	2.4
	無回答	110	6.7
	全体	1643	100.0

問 9 (2) 利用経験のある買物サービスなど

No.	カテゴリー名	n	%
1	定期的に配送してもらうサービス	404	24.6
2	テレビ・雑誌の通信販売	580	35.3
3	インターネット販売	277	16.9
4	ボランティアに買物を頼む	2	0.1
5	移動販売車	87	5.3
6	その他	34	2.1
7	利用したことはない	611	37.2
	無回答	126	7.7
	全体	1643	100.0

問 10 (1) 介護保険制度のサービスなどの範囲について

No.	カテゴリー名	n	%
1	保険料が高くなっても多くのサービスを提供	296	18.0
2	保険料が高くならないようにサービスを限定	936	57.0
3	家族介護や個人の費用負担で賄えばよい	35	2.1
4	その他	27	1.6
5	わからない	201	12.2
	無回答	148	9.0
	全体	1643	100.0

問 10 (2) 困ったこと、わからないことの相談先

No.	カテゴリー名	n	%
1	役場	879	53.5
2	地域包括支援センター	195	11.9
3	かかりつけ医・看護師	422	25.7
4	民生委員	144	8.8
5	家族・親族	1104	67.2
6	友人・知人	410	25.0
7	ケアマネジャー	131	8.0
8	介護保険サービス事業者の職員	72	4.4
9	老人クラブ・町内会・自治会	78	4.7
10	社会福祉協議会	97	5.9
11	その他	14	0.9
12	どこに相談すればよいのかわからない	54	3.3
13	相談しない	15	0.9
	無回答	97	5.9
	全体	1643	100.0

問 10 (3) どこで人生の最期を迎えたいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	自宅	971	59.1
2	病院	412	25.1
3	介護保険施設	92	5.6
4	有料老人ホーム	30	1.8
5	その他	46	2.8
	無回答	92	5.6
	全体	1643	100.0

問 10 (4) 自宅でターミナル期を迎えるために必要な支援

No.	カテゴリー名	n	%
1	往診や訪問看護などの医療サービス	731	75.3
2	ヘルパーなどの介護サービス	458	47.2
3	精神的な支援	195	20.1
4	家族の協力	721	74.3
5	その他	9	0.9
6	特に必要ない	10	1.0
7	わからない	37	3.8
	無回答	27	2.8
	非該当	672	
	全体	971	100.0

問 10 (5) 町が重点的に進めるべき高齢者のためのまちづくり

No.	カテゴリー名	n	%
1	高齢者が地域で活躍できる機会をつくる	428	26.0
2	地域の助け合い活動の重要性の啓発	360	21.9
3	健康づくりや介護予防の講座などの充実	237	14.4
4	福祉や介護サービスなどの情報提供の充実	560	34.1
5	身近で受けられる福祉や介護サービスの充実	914	55.6
6	わかりやすく利用しやすい相談窓口の整備	759	46.2
7	公共施設へのエレベーター設置や段差解消	206	12.5
8	公共交通機関や移動支援の充実	470	28.6
9	買い物の支援体制を整える	397	24.2
10	地域で活動する人や団体育成の支援	170	10.3
11	医療の充実	508	30.9
12	その他	36	2.2
	無回答	248	15.1
	全体	1643	100.0

BMI

No.	カテゴリー名	n	%
1	低体重 (BMI < 18.5)	126	7.7
2	普通体重 (18.5 ≤ BMI < 25)	1147	69.8
3	肥満 (25 ≤ BMI)	304	18.5
	無回答	66	4.0
	全体	1643	100.0

川西町高齢者福祉計画・介護保険事業計画 策定のための  
アンケート調査 調査票

～要介護認定を受けていない方への調査～

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、川西町では、法律で3年ごとに見直しが定められている「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、町内の在宅の高齢者の状況を把握するため、アンケート調査を行うこととしました。

この調査は、介護や福祉、生活支援などの施策検討の参考にするために行うものです。

そのため、本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、町で適切に管理いたします。ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する町外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがありますので、ご了承ください。

この調査票を受け取った皆様には、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめにお読みください

1. この調査は、町内にお住まいの65歳以上（平成29年1月19日現在）で要介護認定を受けていない方を対象にしています。
2. この調査は、あて名に記載されているご本人がご回答ください。なお、回答はご本人にご回答いただきますが、ご家族の方が代わりに答えたり、一緒に答えていただくことも可能です。
3. ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、  
2月20日（月）までにご返送ください。
4. この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

川西町 福祉部長寿介護課

電話：0745-44-2635

はじめにあなたご自身の性別、年齢についておたずねします。

(1) あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢はいくつですか。(平成29年2月1日現在)(1つに○)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 3. 75～79歳 | 5. 85～89歳 |
| 2. 70～74歳 | 4. 80～84歳 | 6. 90歳以上  |

(3) あなたがお住まいの自治会はどこですか。(1つに○)

- |        |            |         |           |
|--------|------------|---------|-----------|
| 1. 中村  | 7. 結崎団地    | 13. 西城  | 19. 唐院    |
| 2. 市場  | 8. ハッピータウン | 14. 東方  | 20. 保田    |
| 3. 辻   | 9. 結崎南団地   | 15. 上吐田 | 21. その他   |
| 4. 井戸  | 10. 美幸     | 16. 北吐田 | ( )       |
| 5. 出屋敷 | 11. 東城     | 17. 南吐田 | 22. わからない |
| 6. 美ノ城 | 12. スカイトウン | 18. 梅戸  |           |

#### 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. 1人暮らし             | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 5. その他       |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) |              |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 介護・介助は必要ない                                       | →(4)へお進みください。   |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない                         | } →(3)にお答えください。 |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている<br>(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |                 |

(3) (2)で「2.」または「3.」と回答した方にお伺いします。主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |          |                |
|-------------|----------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービスのヘルパー |
| 2. 息子       | 5. 孫     | 8. その他( )      |
| 3. 娘        | 6. 兄弟・姉妹 |                |

(4) 現在の暮らしの状況を、経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. ふつう      | 5. 大変ゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 4. ややゆとりがある |             |

## 問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. とても不安である | 3. あまり不安でない |
| 2. やや不安である  | 4. 不安でない    |

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- |              |        |          |          |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2～4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない |
| 2. 減っている    | 4. 減っていない    |

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                                 |                 |
|-------------------|---------------------------------|-----------------|
| 1. 徒歩             | 6. 電車                           | 10. 電動車いす (カート) |
| 2. 自転車            | 7. バス (コミュニティバス<br>「川西コスモス号」含む) | 11. 歩行器・シルバーカー  |
| 3. バイク            | 8. 病院や施設のバス                     | 12. タクシー        |
| 4. 自動車 (自分で運転)    | 9. 車いす                          | 13. その他 ( )     |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) |                                 |                 |

### 問3 食べることについて

(1) あなたの身長と体重を記入してください。(数字を記入)

身長 _____ cm	体重 _____ kg
-------------	-------------

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つに○)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

1. 毎日ある	4. 年に何度かある
2. 週に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

### 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。(1つに○)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

(1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

## 問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(あてはまるものすべてに○)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者         | 5. 近隣         |
| 2. 同居の子ども      | 6. 友人         |
| 3. 別居の子ども      | 7. その他( )     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者         | 5. 近隣         |
| 2. 同居の子ども      | 6. 友人         |
| 3. 別居の子ども      | 7. その他( )     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。

(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ( )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 ( )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない
----------	---------	------------	---------

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください。(1つに○)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点
← とも不幸										
とも幸せ →										

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ない	11. 外傷 (転倒・骨折等) <small>がいしょう てんとう こっせつ</small>
2. 高血圧	12. がん (悪性新生物)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく</small>	13. 血液・免疫の病気 <small>めんえき</small>
4. 心臓病 <small>とうにょうびょう</small>	14. うつ病 <small>にんちしょう</small>
5. 糖尿病 <small>こうしけっしょう しついつじょう</small>	15. 認知症 (アルツハイマー病等)
6. 高脂血症 (脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気 <small>きんこっかく こつそ しょう</small>	19. その他 ( )
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	

**問8 健康づくり・介護予防・認知症施策について**

(1) あなたは、健康を維持するためにしていることや、心がけていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的に主治医の診察を受けている
2. 健康に関する教室などに参加している
3. 町が実施する介護予防教室等に参加している
4. 専門職 (医師、保健師) 等の健康相談を受けている
5. ウォーキングなどの運動・体操をしている
6. 生きがいや趣味をもっている
7. 友達と楽しく話す
8. 地域の行事に参加している
9. 食事の栄養バランスに気をつけている
10. 休息や睡眠をとるようにしている
11. ストレスをためないようにしている
12. 食事のあとで歯をきれいにしている
13. 入浴をこころがけている
14. 規則正しい生活を心がけている
15. 健康についての情報を新聞やテレビ等で取り入れている
16. その他 ( )
17. 特にない

(2) あなたは、運動を週1回以上習慣的に行っていますか。(どちらかに○)

※運動とは、日常生活行動とは別に時間を設けて意識的に体を動かすことをいい、生活上の工夫(例：買物はなるべく歩いていくようにしている等)は含みません。

1. 行っている→(3)にお答えください。 2. 行っていない→(4)へお進みください。

(3) (2)で「1.」と回答した方にお伺いします。あなたの運動の実践状況について、以下のA～Cそれぞれについてお答えください。(それぞれ1つに○)

A	1週間の運動回数	1. 1回	2. 2回以上
B	1回の運動時間	1. 30分未満	2. 30分以上
C	継続期間	1. 1年未満	2. 1年以上

(4) これまで、町が実施している介護予防の教室や講座に参加したことがありますか。(1つに○)

1. ない →(5)にお答えください。 2. ある →(6)へお進みください。

(5) (4)で「1.」と回答した方にお伺いします。町が実施している介護予防の取り組みに参加してこなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分は健康であるので介護予防の必要はないと思ったから
2. 自分自身で介護予防事業の内容を実践し、気をつけているから
3. もう少し身体の状態に自信がなくなってから参加しても遅くはないと考えたから
4. ほかに自分のやりたいことがあったから
5. 介護予防事業の内容にあまり興味を持てなかったから
6. 期間や回数に不安があったから
7. 参加することが面倒に思えたから
8. 開催場所に通うことに支障があったから
9. 開催日時の都合が合わなかったから
10. 参加するための手続きがよくわからなかったから
11. 知り合いが参加しないと不安だから
12. 知らなかったから
13. その他 ( )
14. 特に理由はない

(6) 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。  
(3つまでに○)

1. 認知症を早期に発見し、専門医療につなげる仕組みづくり
2. 認知症の相談窓口の設置
3. 認知症予防の教室・講座の開催
4. 家族会等の開催
5. 見守りボランティア等による生活支援
6. ケアマネジャー、ヘルパー等介護サービス専門職の質の向上
7. 認知症グループホーム、ショートステイ、デイサービスなどの整備
8. 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実（成年後見制度など）
9. 虐待を防止する制度や取り組みの充実
10. 地域で徘徊を発見する仕組み、見守り体制の充実
11. 64歳以下で発症する若年性認知症への支援
12. その他（ )

## 問9 日常生活について

(1) あなたご自身に介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 日常の声かけ・見守り
2. 洗濯、家の中の掃除など
3. ゴミ出し、庭掃除など
4. 食事（調理）の支援
5. 買い物支援
6. 話し相手
7. 移動の支援（主として交通手段に関すること）
8. 外出の付き添いや介助（主として外出先での身体的介助に関すること）
9. 病院や公共施設での案内（病院や公共施設での付き添いや介助を含む）
10. 役場に提出する書類作成の手助け
11. 配食や会食のサービス提供
12. レクリエーション活動参加の支援
13. その他（ )
14. 受けたくない

(2) あなたは、次のような方法で買い物をした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的に配送してもらうサービス (生協など)
2. テレビ・雑誌の通信販売
3. インターネット販売
4. ボランティアに買物を頼む
5. 移動販売車
6. その他 ( )
7. 利用したことはない

## 問 10 町の施策や介護保険制度について

(1) 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 保険料が高くなっても、できるだけ多くの介護サービスや介護予防のためのサービスを保険で提供する
2. 保険料があまり高くないように、保険で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスを限定する
3. 介護サービスや介護予防のためのサービスについては、保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の費用負担で賄えばよい
4. その他 ( )
5. わからない

(2) あなたや家族が、困ったことやわからないことがあったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 役場 (長寿介護課・健康福祉課・保健センターなど) | 7. ケアマネジャー            |
| 2. 地域包括支援センター                | 8. 介護保険サービス事業者の職員     |
| 3. かかりつけ医・看護師                | 9. 老人クラブ・町内会・自治会      |
| 4. 民生委員                      | 10. 社会福祉協議会           |
| 5. 家族・親族                     | 11. その他 ( )           |
| 6. 友人・知人                     | 12. どこに相談すればよいのかわからない |
|                              | 13. 相談しない             |

(3) もし、人生の最期を迎えたとしたら、あなたはどこで迎えたいですか。(1つに○)

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| 1. 自宅      | } → (4) にお答えください。 |
| 2. 病院      |                   |
| 3. 介護保険施設  |                   |
| 4. 有料老人ホーム |                   |
| 5. その他 ( ) |                   |
- (5) へお進みください。



◎高齢者が暮らしやすいまちづくりのために、ご意見・ご提案がありましたらお書きください。  
(自由意見)


調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

記入した調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、2月  
20日（月）までに投函してください。

川西町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための

## アンケート調査結果報告書

〔介護予防・日常生活圏域ニーズ調査〕

平成 29 年 3 月

編集・発行：川西町長寿介護課

TEL：0745-44-2211（代）

FAX：0745-44-4734（代）